

II

学 校 教 育

第 1 節 学校教育概況

1 概況

本県においては、人間尊重の精神に基づき、国際化・情報化・高齢化など社会の変化に対応し、心豊かで創造力・実践力に富み、生涯にわたって主体的に学ぶ意欲・態度・能力を身につけた人間の育成を目指して、本年度は次の諸点に重点を置いて活力ある教育活動の充実に努めている。

- (1) 創意ある教育課程を展開し、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養い、幼児児童生徒の個性の伸長と徳育の充実に努める。

また、教育課程や学校運営について更に工夫を行うとともに、保護者や地域社会との連携を進める。

- (2) 一人一人を大切に生徒指導・進路指導を展開し、人間としての望ましい生き方を目指して努力する意志や態度を育てるとともに、個性に即した自己表現に努める主体的な意欲を育てる。
- (3) 国際社会に生きる日本人として、広い視野をもち国際社会に貢献できる人間の育成を目指すとともに、社会の情報化に即した情報教育の展開に努める。
- (4) 児童生徒が生涯にわたって、自らの健康づくりができるように、保健・安全・食生活についての基礎的能力と態度の育成を図る。また、生涯体育・スポーツ推進の基礎づくりを目指して、教科体育をはじめ、体育的諸活動の充実に努め、調和のとれた基礎体力の向上と、より高度な運動技能の習得を図る。
- (5) すべての障害のある幼児児童生徒に、それぞれの教育的ニーズに応じた適切な教育を推進し、可能な限り積極的に社会に参加する人間を育てるため、特別支援教育の一層の充実に努める。

2 幼稚園教育

(1) 幼稚園教育の現況

施設の設備、希望する3才児の就園や預かり保育の推進など幼稚園教育の充実に努めるとともに、家庭や保育所、認定こども園、小学校と連携を強化して幼児教育の振興を図ってきた。また、少子化対策の観点から、市町村が行った第3子以降の幼児の保育料軽減に助成している。平成12年度から平成28年度までの幼稚園数、学級数は次表のとおりである。

(2) 幼児教育相談員の委嘱

幼稚園教諭の中から、幼児教育相談員を委嘱し、幼児教育における研修について地域協業体制をすすめて、教員の指導力の向上に努めている。

(幼稚園数・学級数の推移)

区分 年度	幼稚園数				学級数				幼稚園 就園率
	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	
平成 12	1	48(休 3)	60	109(休 3)	5	130	342	477	34.6
13	1	47(休 3)	60	108(休 3)	5	135	353	493	33.6
14	1	47(休 3)	60(休 1)	108(休 4)	5	138	343	486	33.3
15	1	46(休 3)	60(休 1)	107(休 4)	5	142	339	486	31.6
16	1	46(休 3)	59	106(休 3)	5	141	338	484	32.2
17	1	43(休 2)	60(休 1)	104(休 3)	5	139	347	491	30.5
18	1	39(休 1)	60(休 2)	100(休 3)	5	133	354	492	30.0
19	1	38(休 1)	60(休 2)	99(休 3)	5	109	341	455	29.9
20	1	38(休 1)	60(休 4)	99(休 5)	5	112	333	450	29.5
21	1	37(休 1)	61(休 5)	99(休 6)	5	108	328	441	29.0
22	1	33	59(休 3)	93(休 3)	5	101	332	438	28.6
23	1	33	59(休 3)	93(休 3)	5	106	315	426	28.9
24	1	32	59(休 3)	92(休 3)	5	103	308	416	28.0
25	1	31	57(休 3)	89(休 3)	5	116	308	429	28.6
26	1	29	56(休 2)	86(休 2)	5	112	308	425	27.1
27	1	29	44(休 2)	74(休 2)	5	104	233	342	27.1
28	1	27	38(休 2)	66(休 2)	5	94	206	305	21.9

()は内数、幼稚園就園率：小学校1年生児童のうち幼稚園修了者の占める割合(%)

3 小学校・中学校教育

小・中学校においては、児童生徒一人一人をかけがえのない存在として“見つめ”、一人一人の個性・能力に即してその人間性を豊かに開花させ、生き生きとした知・情・意の働きを高めることによって、生涯にわたる人間形成の基礎を確立するよう努めている。

そのため、特に、教育愛に根ざした創意ある教育活動の推進、創造力、実践力を育む学習指導の展開に努めている。

(1) 小・中学校数(平成28年5月1日現在)

ア 小学校数は、本校193校である。(国公立小学校の総数。休校中のものを含む)

イ 中学校数は、本校83校である。(国公立中学校の総数)

(2) 児童・生徒数(平成28年5月1日現在)

小学校の児童数は、前年度より1,083人減の53,112人、(男27,251人、女25,861人)であった。(これまでの最高は昭和33年度の159,700人)。また、中学校は555人減の29,312人(男15,010人、女14,302人)であった。

4 高等学校教育

高等学校教育では、多様な生徒の興味・関心、能力、適性、進路希望の実態に対応して、教育活動を展開し、学校の特色化を進めている。基本的な教育目標としては、ゆとりの中で「生きる力」を育むことによって、豊かな人間性と創造性を身につけさせることを設定している。そのために、科目選択幅の拡大や少人数教育の充実を図っている。さらに生涯にわたって主体的に学習できるよう「学ぶ力」の向上にも力を入れている。

(1) 全日制の課程

平成 28 年度入学生の学級編成については、中学校卒業予定者数が前年に比べ 86 人減であることなどにより、募集定員は平成 27 年度に比べ 40 人減の 7,184 人とした。募集定員に占める普通系学科の割合は 63.1%である。

募集定員における普通系学科、職業系学科及び総合学科の比率の推移（県立全日制）

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28
普通系学科	61.5	61.7	63.3	62.6	63.1	62.8	62.9	63.3	63.1
職業系学科	31.8	31.9	30.2	30.6	30.4	30.5	30.4	30.0	30.2
総合学科	6.7	6.3	6.4	6.7	6.6	6.7	6.7	6.6	6.7
募集定員	7,114	6,954	7,474	7,114	7,314	7,154	7,144	7,224	7,184

(2) 定時制・通信制の課程

定時制・通信制については、働きながら学ぶ生徒への学習機会の提供に加えて、近年においては、不登校経験のある生徒など多様な生徒の学習ニーズへの対応にも努めている。現在、県内 4 地区に昼間Ⅰ部・Ⅱ部・夜間などの多部制単位制の単独校を設置するなど、規模の確保や柔軟な教育システムの導入を図っている。また、働きながら学ぶ生徒の経済的負担を軽減するため、次の修学奨励措置を実施している。

- ・定時制教科書、通信制教科書・学習書無償給与事業
- ・定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与事業

(3) 県立高等学校授業料

平成 26 年度入学生から高等学校等就学支援金制度が導入されたことに伴い、親権者の市町村民税所得割額の合計が 304,200 円未満の生徒に対し、徴収すべき授業料相当額を就学支援金として支給（相殺）することで、実質無償化している。

平成 25 年度以前の入学生の授業料は、全日制、定時制及び通信制高校とも専攻科以外引き続き不徴収である。

(平成 26 年 4 月 1 日～)

区 分			金 額	
授業料	全 日 制 の 課 程		月額 9,900 円	
	定時制の課程	単位制に よる課程	履修期間が 6ヶ月の科目	一単位につき月額 270 円
			履修期間が 1年の科目	一単位につき月額 135 円
		単位制による課程以外のもの		月額 2,700 円
専 攻 科			月額 9,900 円	
受講料	通 信 制 の 課 程		一単位につき 300 円	

(4) 学校設置状況

ア 高等学校数推移

年度	区分	県 立						私 立			合計	
		本 校				分 校		全 日				
		全日	全定 併置	定時	計	全日	定時	計	本校	分校		計
平成 2		36	8	2	46	2	2	4	9	0	9	59
7		37	7	2	46	1	3	4	9	0	9	59
12		38	6	2	46	1	3	4	9	0	9	59
17		41	1	4	46	1	1	2	9	0	9	57
18		41	1	4	46	1	1	2	9	0	9	57
19		41	1	4	46	1	1	2	9	0	9	57
20		41	1	4	46	1	1	2	10	0	10	58
21		41	1	4	46	1	1	2	10	0	10	58
22※		43	1	4	48	2	1	3	10	0	10	61
23※		43	1	4	48	2	1	3	10	0	10	61
24		36	1	4	41	1	1	2	10	0	10	53
25		36	1	4	41	1	1	2	10	0	10	53
26		36	1	4	41	1	1	2	10	0	10	53
27		36	1	4	41	1	1	2	10	0	10	53
28		36	1	4	41	1	1	2	10	0	10	53

※全日制の学校数は、再編移行期を反映したもの

イ 県立全日制学科別学校数（本校）（平成 28 年度）

単 独 校							総 合 校			
普通	農業	工業	商業	国際	総合	小計	普と専 1	普と専 2以上	専と 総合	小計
13	1	4	2	1	2	23	8	5	1	14

ウ 県立定時制学科別学校数（本校）（平成 28 年度） * 単位制

種 別	単 独 校		総 合 校		
	工業	小計	普と職 1	普と職 2 以上	小計
独立校	0	0	* 2	* 2	* 4
併置校	1	1	0	0	0

エ 県立通信制学校数（平成 28 年度）

独立校	併置校	協力校
0	2	2

(5) 平成 28 年度県立高等学校入学者の選抜（全日制の課程）

ア 志願の方法

(ア) 志願はイに示す通学区域内の 1 校 1 学科に限る。ただし、工業又は商業に関する学科を志願する者は、同一校のそれぞれの学科内に限り、第 2 順位まで志願することができる。

(イ) 富山高等学校、富山中部高等学校、高岡高等学校の普通科又は理数科学科・人文社会科学科を志願する者は、同一校の理数科学科・人文社会科学科又は普通科に限り、第 2 順位まで志願することができる。この場合において、普通科を第 2 順位志願できるのは普通科の通学区域内の者に限る。また、南砺福光高等学校普通科又は国際科を志願する者は、同校の国際科又は普通科に限り、第 2 順位まで志願することができる。

イ 通学区域

専門に関する学科及び総合学科は、全県 1 区。普通科は、次表のとおりである。（隣接地区の通学が認められている。）

地区（郡・市）	通学区域
1 新川地区（魚津市、滑川市、黒部市、下新川郡、中新川郡）	新川地区、富山地区
2 富山地区（富山市）	富山地区、新川地区、高岡地区
3 高岡地区（高岡市、氷見市、射水市）	高岡地区、富山地区、砺波地区
4 砺波地区（砺波市、小矢部市、南砺市）	砺波地区、高岡地区

ウ 学力検査

学力検査は、国語、社会、数学、理科、英語の 5 教科について行った。（昭和 42 年度入学者選抜以降）

エ 学科別志願・合格状況

区分		普通	探究	国際	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	福祉	総合	計	
定員		4,144	240	150	170	60	1,030	720	120	40	30	480	7,184	
志願者	第1次	人数	4,583	302	145	193	78	1,258	797	161	45	26	513	8,101
		倍率	1.11	1.26	0.97	1.14	1.30	1.22	1.11	1.34	1.13	0.87	1.07	1.13
	第2次	人数	152	0	3	0	0	1	82	0	0	7	34	279
合格者	第1次	人数	4,068	240	141	170	60	1,029	699	120	40	25	469	7,061
	第2次	人数	63	0	3	0	0	0	21	0	0	5	11	103

(注)「志願者数」「合格者数」には推薦入学内定者数を含める。

(6) 平成28年度県立高等学校推薦入学者の選抜（全日制の課程）

ア 対象学科及び人員

- (ア) 推薦入学は、全日制の課程の職業に関する全学科、総合学科、国際科、国際交流科、普通科に設置されている各コースにおいて実施した。
- (イ) 推薦入学の募集人員は、専門学科（理数科学科、人文社会科学科、国際科、国際交流科を除く）においては、募集定員の50%以内、総合学科においては40%以内、理数科学科、人文社会科学科、国際科、国際交流科においては募集定員の40%以内、普通科に設置されている各コースにおいては学級定員の50%以内（ただし、呉羽高等学校普通科音楽コース、水橋高等学校普通科体育コースは60%以内）で、またコースを除く普通科においては募集定員の10%以内（コースを有する普通科は募集定員から1学級定員を除いた数の10%以内）で各高等学校長が定めた。

イ 志願の方法

志願はアの(ア)に示す対象学科のうちの1校1学科あるいは1コースに限る。

ウ 検査

検査は、面接等をもって行い、学力検査は行わなかった。

エ 学科別志願・合格状況

区分		普通 (コース)	探究	国際	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	福祉	総合	計
推薦入学の 募集人員		164	-	50	68	26	406	332	48	14	12	138	1,258
志願者	人員	179	-	26	78	31	371	389	81	27	22	110	1,314
	倍率	1.09	-	0.52	1.15	1.19	0.91	1.17	1.69	1.93	1.83	0.80	1.04
合格者		157	-	26	63	29	342	332	54	14	14	106	1,137

(7) 平成 28 年度県立高等学校入学者の選抜（定時制の課程）

ア 志願の方法

- (ア) 志願は、1校1学科に限る。ただし、工業に関する学科を志願する者は、同一校のその学科内に限り、第2順位まで志願することができる。
- (イ) 単位制前期第2次選抜、単位制以外第1次選抜は、全日制の課程第2次選抜と重ねて志願することができる。

イ 検査

検査は、作文及び面接を行い、高等学校長が必要と認めた場合、学力検査も行った。

ウ 合格状況(含 通信制の課程)

区分	定員	合格者数				
		第1次	第2次	第3次	小計	合計
定時制	単位制 約 840	293	37	-	330	334
	単位制以外 約 120	3	1	-	4	
通信制	約 300	30	4	-	-	34

(8) 全日制の課程志願・合格状況の推移

区分 年度	中学校卒業 (予定)者 (A)	志願者数 (B)	合格者数 (C)	志願率 $(\frac{B}{A} \times 100)$	合格率 $(\frac{C}{B} \times 100)$	進学率 $(\frac{C}{A} \times 100)$
	10	13,059	11,359	9,486	87.0	83.5
11	12,955	11,360	9,382	87.7	82.6	72.4
12	12,589	10,920	9,134	86.7	83.6	72.6
13	12,033	10,238	8,673	85.1	84.7	72.1
14	11,743	10,249	8,414	87.3	82.1	71.7
15	11,035	9,584	7,934	86.9	82.8	71.9
16	11,084	9,565	7,927	86.3	82.9	71.5
17	10,499	8,919	7,474	85.4	83.8	71.5
18	10,174	8,533	7,269	83.9	85.2	71.4
19	10,179	8,472	7,253	83.2	85.6	71.3
20	10,056	8,348	7,085	83.0	84.9	70.5
21	9,845	7,992	6,936	81.2	86.8	70.5
22	10,539	8,639	7,467	82.0	86.4	70.9
23	10,039	8,089	7,111	80.6	87.9	70.8
24	10,305	8,350	7,310	81.0	87.5	70.9
25	10,093	8,206	7,154	81.3	87.2	70.9
26	10,063	7,956	7,132	79.1	89.6	70.9
27	10,189	8,038	7,194	78.9	89.5	70.6
28	10,103	8,101	7,164	80.2	88.4	70.9

(9) 高等学校専攻科

(平成28年5月1日現在)

学校名	専攻科名		生徒数		
			1年	2年	計
中央農業高等学校	農業	農業	11	7	18
富山いずみ高等学校	看護	看護	38	37	75
雄峰高等学校	家庭	生活科学	53	37	90
小矢部園芸高等学校	農業	園芸	44	41	85

(10) 定時制の課程単位制後期入学者選抜 平成27年9月実施

ア 志願資格

中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者、または、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、現在、高等学校等に在籍していない者、及び過去に高等学校等で単位を習得していない者。

イ 志願の方法

志願は、1校1学科に限る。

ウ 検査

検査は、作文及び面接を行い、高等学校長が特に必要と認めた場合は、学力検査も行った。

エ 合格状況

募集人員	志願者数	受検者数	合格者数
445	22	20	8

5 特別支援教育

障害のある子どもたちが自立し、社会参加するために、必要な力を培うため、一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活上や学習上の困難を改善または克服するため、特別な支援を必要とする子どもたちが在籍する全ての学校において特別支援教育を実施している。

平成28年度における県内特別支援学校は14校1分校（国立、市立各1校を含む）で、就学者は1,306名であり、このうち義務教育段階の者は717名である。また、小・中学校の特別支援学級の総数は503学級で、在籍数は1,409名である（知的障害253学級792名、肢体不自由21学級29名、病弱・身体虚弱12学級9名、弱視2学級2名、難聴16学級16名、言語障害7学級14名、自閉症・情緒障害192学級547名）。通級指導教室（言語障害・情緒障害・学習障害）の総数は155教室で、1,613名が指導を受けている。

これらの場で特別支援教育を受けている学齢児の総数は3,739名で、これは全学齢児の約4.5%に当たる。

(1) 特別支援学校の学級数、児童生徒数

(平成28年5月1日現在)

学校名	障害種別	幼稚部		小学部		中学部		高等部		計	
		学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数	学級	人数
富山視覚総合 支援学校	視覚障害 病弱	1	3	4	6	2	4	10	16	17	29
富山聴覚総合 支援学校	聴覚障害 知的障害	2	5	4	9	4	10	7	28	17	52
高岡聴覚総合 支援学校		4	6	3	5	2	4	7	22	16	37
しらとり 支援学校	知的障害			28	114	18	75	16	96	62	285
富山高等 支援学校								8	56	8	56
高岡 支援学校				21	78	14	61	13	65	48	204
高岡高等 支援学校								9	60	9	60
となみ東 支援学校				3	4	4	9			7	13
富山大学人間発達科学部附 属特別支援学校				3	17	3	18	3	24	9	59
にいかわ総合 支援学校					13	49	9	33	12	66	34
となみ総合 支援学校	知的障害 肢体不自由			13	54	8 ①	24 ①	11	54	32 ①	132 ①
富山総合 支援学校				9 ①	24 ③	10 ②	24 ④	12 ①	41 ②	31 ④	89 ⑨
高志 支援学校	肢体不自由			11	27	7	17	11	29	29	73
高岡市立こまどり支 援学校				10	21	5	10			15	31
ふるさと 支援学校	病弱			5 ②	9 ⑥	5 ②	11 ③	5 ②	18 ⑥	15 ⑥	38 ⑮
計		7	14	127 ③	417 ⑨	91 ⑤	300 ⑧	124 ③	575 ⑧	349 ⑪	1,306 ⑮

(注) ・訪問教育の学級数、児童生徒数は○で示し、内数とする。

・専攻科の学級数、生徒数は高等部に含む。

(2) 特別支援学級・通級指導教室

教育事務所	市町村	知的障害 特別支援学級				肢体不自由 特別支援学級				病弱・身体虚弱特別支援学級 (院内学級)				弱視特別支援学級				難聴特別支援学級			
		小学校		中学校		小学校		中学校		小学校		中学校		小学校		中学校		小学校		中学校	
		学級数	在籍数	学級数	在籍数	学級数	在籍数	学級数	在籍数	学級数	在籍数	学級数	在籍数	学級数	在籍数	学級数	在籍数	学級数	在籍数	学級数	在籍数
東部	朝日町	2	6	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	入善町	6	14	2	7	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	黒部市	8	22	4	8	1	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	魚津市	10	26	2	6	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	滑川市	7	18	2	9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
	上市町	6	9	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	立山町	6	10	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	舟橋村	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富山市	58	182	29	108	8	14	0	0	5	6	1	0	0	0	0	0	3	3	2	2
	小計	104	290	43	148	12	18	2	2	8	8	1	0	1	1	0	0	7	7	3	3
西部	射水市	13	46	6	26	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
	高岡市	26	94	11	44	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
	氷見市	9	14	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	南砺市	7	37	6	12	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	砺波市	10	35	4	15	2	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	小矢部市	5	15	4	9	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	70	241	36	113	7	9	0	0	3	1	0	0	1	1	0	0	3	3	3	3
合計	174	531	79	261	19	27	2	2	11	9	1	0	2	2	0	0	10	10	6	6	

(2) 特別支援学級・通級指導教室（続き）

教育 事務 所	市町村	言語障害 特別支援学級		自閉症・情緒障害 特別支援学級				言語障害 通級指導教室		情緒障害 通級指導教室		学習障害 通級指導教室			
		小学校		小学校		中学校		小学校		小学校		小学校		中学校	
		学級数	在籍数	学級数	在籍数	学級数	在籍数	教室数	児童数	教室数	児童数	教室数	児童数	教室数	生徒数
東 部	朝日町	1	1	2	3	1	1	0	0	0	0	2	17	0	0
	入善町	0	0	4	8	0	0	0	0	0	0	5	40	0	0
	黒部市	1	2	8	21	3	9	5	43	0	0	4	46	0	0
	魚津市	0	0	5	10	2	9	3	36	2	14	4	29	2	22
	滑川市	1	2	4	14	1	1	0	0	7	50	0	0	0	0
	上市町	0	0	2	4	1	1	0	0	0	0	1	15	0	0
	立山町	0	0	5	13	1	1	1	21	0	0	2	29	0	0
	舟橋村	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富山市	2	5	47	137	14	37	20	161	12	104	16	196	6	54
	小計	5	10	78	211	23	59	29	261	21	168	34	372	8	76
西 部	射水市	0	0	11	37	5	10	2	35	0	0	9	130	2	27
	高岡市	0	0	24	83	11	31	1	7	2	29	22	230	2	12
	氷見市	0	0	9	19	3	9	1	15	0	0	6	64	0	0
	南砺市	1	2	5	18	5	9	0	0	0	0	5	61	0	0
	砺波市	1	2	9	38	3	10	0	0	1	20	5	68	0	0
	小矢部市	0	0	4	10	2	3	0	0	5	38	0	0	0	0
	小計	2	4	62	205	29	72	4	57	8	87	47	553	4	39
合計	7	14	140	416	52	131	33	318	29	255	81	925	12	115	

(3) 学級数及び在籍数統計

(平成 28 年 5 月 1 日現在)

種 別	区 分		学級数	在籍者数	計	
					学級数	在籍者数
特別 支 援 学 校	視覚障害	幼稚部	1	3	14	25
		小学部	4	6		
		中学部	2	4		
		高等部	7	12		
	聴覚障害	幼稚部	6	11	27	52
		小学部	7	14		
		中学部	6	14		
		高等部	8	13		
	知的障害	小学部	78	308	210	994
		中学部	52	214		
		高等部	80	472		
	肢体不自由	小学部	33	80	80	193
中学部		26	57	⑤	⑩	
高等部		21	56			
病弱	小学部	5	9	18	42	
	中学部	5	11	⑥	⑮	
	高等部	8	22			
特別 支 援 学 級	知的障害	小学校	174	531	253	792
		中学校	79	261		
	肢体不自由	小学校	19	27	21	29
		中学校	2	2		
	病弱・身体虚 弱	小学校	11	9	12	9
		中学校	1	0		
	弱視	小学校	2	2	2	2
		中学校	0	0		
	難聴	小学校	10	10	16	16
		中学校	6	6		
	言語障害	小学校	7	14	7	14
	自閉症・情緒 障害	小学校	140	416	192	547
中学校		52	131			
合 計					852⑪	2,715⑮

・ ○印は訪問教育で内数

・ 知的障害・肢体不自由併置の特別支援学校の訪問教育は、肢体不自由に分類した。

(4) 通級指導教室数及び通級児童生徒数

種 別	区 分	教室数	通級児童生徒数
言語障害通級指導教室		33	318
情緒障害通級指導教室		29	255
学習障害通級指導教室		93	1,040
合計		155	1,613

(5) 特別支援教育の振興充実（平成 27 年度実績）

ア 就学相談・支援

- ・ 県教育支援委員会 年間 1 回
- ・ 県教育支援委員会調査員会 年 12 回
- ・ 市町村教育委員会就学支援連絡会
 - 第 1 回 5 月 15 日（会場）県総合教育センター（参加者）地教委関係者等
 - 第 2 回 7 月 14 日（会場）県総合教育センター（参加者）地教委関係者等
 - 第 3 回 9 月 9 日（会場）県総合教育センター（参加者）地教委関係者等
- ・ 巡回就学相談 7 月、10 月に計 7 日間 新川、富山、高岡、砺波各地区延 50 件

イ 啓発資料等作成資料

- ・ 「富山の特別支援教育」（リーフレット）
- ・ 「巡回就学相談」（リーフレット）
- ・ 特別支援教育とやま「こころ」（第 106 号）
- ・ 「障害のある児童生徒の就学の手引」（第 5 次改訂）
- ・ 「特別支援学級等担当者の指導用テキスト」
- ・ 「特別支援教育学び Q & A」
- ・ 「よき理解者・支援者となるために」（リーフレット）

ウ 研究会等

- ・ 特別支援学級等新任担当教員研修会 年間 5 回
（会場）富山県総合教育センター、協力校（参加者）77 名
- ・ 特別支援学校教育課程研究協議会 年間 1 回
（会場）富山県総合教育センター（参加者）171 名
（講師）広島大学大学院 教育学研究科附属特別支援教育実践センター
教授 川合紀宗
- ・ 特別指導者招へい研修講座 年間 10 回（10 日間）
（会場）協力校、富山県総合教育センター（参加者）21 名
（講師）金沢星稜大学 教授 河野俊寛

6 へき地教育

へき地教育（級地指定校）の児童・生徒数は、年ごとに減少のきざしを見せている。
へき地では実態に即した学校、学級運営の工夫と学習指導の改善に努めている。

(1) 学校数・学級数・生徒数の推移 （△は特別支援学級）

区分 年度	学校数						学級数								児童 生徒数	
	小学校			中学校			小学校				中学校				小学校	中学校
	本校	分校	計	本校	分校	計	単式	2 複	3 複	計	単式	2 複	3 複	計		
平成12	7	0	7	3	0	3	26 △3	6	0	32 △3	9 △1	0	0	9 △1	317	131
13	7	0	7	3	0	3	23 △3	7	0	30 △3	9 △1	0	0	9 △1	290	119
14	7	0	7	3	0	3	24 △3	6	0	30 △3	9	0	0	9	267	112
15	5	0	5	3	0	3	20 △3	6	0	26 △3	10	0	0	10	246	92
16	5	0	5	3	0	3	18 △3	7	0	25 △3	10 △1	0	0	10 △1	232	97
17	5	0	5	3	0	3	16 △2	8	0	24 △2	10 △1	0	0	10 △1	226	87
18	4	0	4	3	0	3	12 △2	6	0	18 △2	9	0	0	9	198	95
19	4	0	4	3	0	3	14 △1	5	0	19 △1	9	0	0	9	187	83
20	4	0	4	3	0	3	12	6	0	18	9	0	0	9	182	73
21	4	0	4	2	0	2	10	7	0	17	6	0	0	6	180	69
22	3	0	3	2	0	2	4	7	0	11	6	0	0	6	122	67
23	3	0	3	2	0	2	6	6	0	12	6	0	0	6	123	63
24	3	0	3	2	0	2	5	6	0	11	6	0	0	6	114	54
25	3	0	3	2	0	2	7	5	0	12	6	0	0	6	111	56
26	2	0	2	2	0	2	7	2	0	9	6	0	0	6	105	60
27	2	0	2	2	0	2	7	2	0	9	6	0	0	6	98	62
28	2	0	2	2	0	2	7	2	0	9	6	0	0	6	93	63

(2) へき地級地別学校数

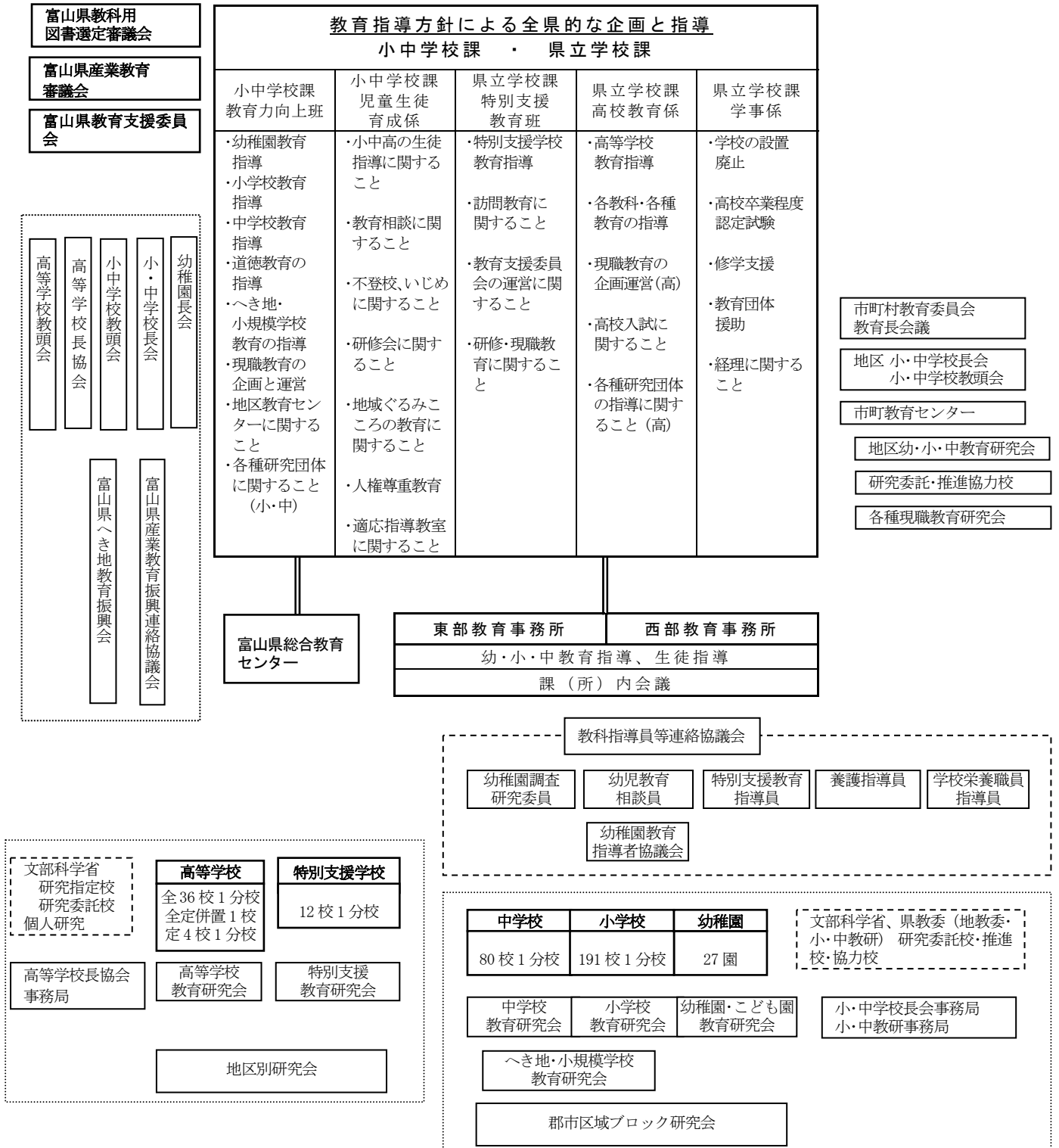
区分 学校数 ()は分校で内数	小学校							中学校				総計
	4	3	2	1	準	特	計	3	2	1	計	
	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1	2	4

(3) 事業 へき地・小規模学校教育研修会

第2節 学校教育指導

1 指導組織・体制

(1) 指導組織（平成28年度）



(2) 教科指導員の活動（平成 28 年度）

種別	おもな任務	人数	配置状況
特別支援教育指導員	・小・中学校の特別支援学級・通級指導教室における学級運営及び学習指導の改善をすすめ、特別支援教育の振興を図る。	9名 (8)	・小中学校教諭より 5名(4)、 特別支援学校教諭 より4名(4) 委嘱 〔 東部教育事務所管内5名(4) 〕 西部 〃 4名(4) 〕
幼児教育相談員	・幼稚園の保育指導、学級運営及び家庭教育との連携等について相談援助を行う。また、関係諸機関と連携を密にし、幼児教育の振興を図る。	3名 (3)	・東部教育事務所管内 1名(1) ・西部教育事務所管内 2名(2)
養護指導員	・養護教諭に対し、保健室運営、救急処置、ヘルスカウンセリング等についての指導・助言を行う。また、関係諸機関と連携を密にして、学校保健の維持・向上に努める。	5名 (5)	・東部教育事務所管内 3名(3) ・西部教育事務所管内 2名(2)
学校栄養職員指導員	・学校栄養職員に対し、役割の趣旨を徹底するとともに、その定着を図る。また、栄養指導や管理運営あるいは給食物資の取扱い等の指導助言にあたる。	6名 (6)	・東部教育事務所管内 3名(3) ・西部教育事務所管内 3名(3)

※ () 内は、平成 27 年度実績

2 教育指導力の向上

(1) 現職教育

(小中学校課・県立学校課主管各講習会実施状況（平成 27 年度実績）)

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		幼稚園		計	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
1 初任者研修	15	1,215	15	765	15	765	15	450			60	3,195
2 新規採用教員研修会	13	168	13	13	13	26			8	311	47	518
3 6年次教職員研修会	4	240	4	132	4	128	4	56			16	556
4 11年次教職員研修会	13	583	13	289	13	418	13	167	7	28	59	1,485
5 新任教務主任研修会	3	93	3	48	3	54	3	18			12	213
6 産業教育新技術等講習会					6	118					6	118
7 教育課程研究協議会	1	1,241	1	588	1	71	1	171	1	172	5	2,243

学校種別 区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援 学校		幼稚園		計	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
8 生徒指導 セミナー	6	164	6	86	6	94	6	37			24	381
9 図書館教育 講習会	1	44	1	17	1	8	1	5			4	74
10 特別支援学級等 新任担当教員 研修会	5	270	5	115							10	385
11 学校経営研修会	3	63	3	54	3	69	3	24			12	210
12 へき地・小規模 学校教育研究 大会	1	43	1	2							2	45
13 各種指導員 研修会	1	10	1	4			1	4	1	3	4	21
計	66	4,134	66	2,113	65	1,751	47	932	17	514	261	9,444

(2) 各種研修派遣

(県教委派遣内地留学 (平成 27 年度実績))

校種	人数	期間	派遣先	研究課題	
小・ 中学校	6 人	6 か月	富山大学	カウンセリングを生かした学級・学校経営	
				カウンセリングの機能を生かした学級づくり	
				カウンセリングの技法を活用した正しい生徒理解について	
				学校不適応生徒が社会的自立に向けて自らの将来を主体的に形成していくための支援の在り方	
				生涯にわたり、個々の心理的な問題を解決できる力を児童生徒に身に付けさせるためのスクールカウンセリングの在り方について	
				カウンセリングを生かした生徒理解と支援の在り方	
高等学校	1 人	3 か月	富山大学	会計分野の指導力向上に向けた授業方法の研究	
特別 支援 教育	小・ 中学校	2 人	2 か月	独立行政法人国立特別 支援教育総合研究所	発達障害教育
	特別 支援 学校	2 人	2 か月	独立行政法人国立特別 支援教育総合研究所	知的障害教育
		1 人	2 か月	独立行政法人国立特別 支援教育総合研究所	視覚障害教育

(3) 研究指定校 研究委託校（平成 28 年度）

ア 文部科学省研究指定校（委託校）等

種 別	研究指定校
人権教育研究指定校	上市中
文部科学省研究指定校 スーパーサイエンスハイスクール スーパーグローバルハイスクール	富山中部高校 高岡高校
環境・資源エネルギー教育推進事業	滑川高校、小杉高校、砺波高校
環境のための地球規模の学習及び 観測プログラム（グローブ）推進 事業	氷見高校
キャリア教育・就労支援等の充実 事業	新川みどり野高校、雄峰高校、志貴野高校、とな み野高校、富山高等支援学校、高岡高等支援学校
土曜授業研究事業	滑・東部小、滑・南部小、滑・西部小、寺家小、 東加積小、北加積小、田中小 滑川中、早月中 高岡西高校、高岡南高校、八尾高校、富山東高校、 大門高校

イ 県教育委員会研究指定校（委託校）等

種 別	研究指定校
学校歯科保健研究推進校	十二町小、氷・南部中
学校健康づくり運動研究推進校	横田小、射北中、呉羽高校
金銭教育研究校	舟橋小
金融教育研究校	新湊高校
市町村教育委員会プラン研究委 託事業拠点校	さみさと小、黒東小、飯野小、上青小、若栗小、 大町小、住吉小、経田小、田中小、滑・南部小、 南加積小、宮川小、立山北部小、舟橋小、中央小、 光陽小、西田地方小、針原小、大広田小、豊田小、 浜黒崎小、小杉小、太閤山小、下村小、下関小、 久目小、速川小、明和小、灘浦小、小・東部小、 庄川小、福光南部小、 朝日中、入善西中、宇奈月中、魚・西部中、 滑川中、上市中、雄山中、舟橋中、富・南部中、 富・北部中、小杉中、芳野中、大谷中、般若中、 福野中
とやまの高校グローバル人材育 成促進事業研究拠点校	桜井高校、富山高校、高岡南高校、南砺福野高校

中高生の科学研究実践活動プログラム	入善高校、滑川高校
高校生介護等体験特別事業	雄山高校

(4) 海外研究派遣（平成 27 年度実績）

教員海外派遣（英語教育コース）		
期日	派遣人数	主要訪問国
6 月 ～ 8 月 (59 日間)	高校 1 名	・イギリス 文科省編成による各団に所属する。

3 教科用図書の採択

(1) 教科書センターの設置並びに教科書展示会（平成 28 年度）

- ・黒部、魚津、滑川、富山、射水、高岡、氷見、砺波、小矢部の 9 センターを設置
- ・法定の教科書展示会 6 月 17 日から 14 日間
(平成 27 年度 6 月 19 日から 14 日間)

(2) 教科書の採択

ア 小学校（使用期間 平成 27 年度～平成 30 年度）

種目 地区	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	保健
下新川・黒部	光村	光村	東書	東書	東書	東書	東書	教芸	開隆堂	開隆堂	光文
魚津	光村	光村	東書	帝国	東書	学図	東書	教芸	日文	開隆堂	光文
中新川	光村	光村	東書	東書	東書	東書	学図	教芸	日文	開隆堂	学研
富山	光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	教芸	日文	開隆堂	学研
射水	東書	東書	東書	帝国	東書	学図	学図	教芸	日文	東書	光文
高岡	光村	光村	東書	帝国	東書	学図	学図	教芸	日文	開隆堂	学研
氷見	光村	光村	東書	帝国	東書	学図	学図	教芸	日文	開隆堂	学研
砺波	光村	光村	教出	東書	東書	東書	東書	教芸	開隆堂	開隆堂	光文

イ 中学校（使用期間 平成 28 年度～平成 31 年度）

種目 地区	国語	書写	社会			地図	数学	理科	音楽		美術	保健 体育	技術家庭		英語
			地理	歴史	公民				一般	器楽			技術 分野	家庭 分野	
下新川 ・黒部	光村	教出	帝国	東書	東書	帝国	啓林館	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	開隆堂
魚津	光村	東書	帝国	東書	帝国	帝国	学図	東書	教芸	教芸	光村	学研	東書	東書	三省堂
中新川	光村	光村	帝国	帝国	東書	帝国	東書	東書	教出	教出	光村	学研	東書	東書	開隆堂
富山	光村	東書	帝国	帝国	東書	帝国	東書	東書	教芸	教芸	光村	東書	開隆堂	開隆堂	開隆堂
射水	光村	光村	東書	帝国	帝国	東書	啓林館	東書	教芸	教芸	光村	学研	東書	教図	東書
高岡	光村	光村	帝国	帝国	帝国	帝国	東書	東書	教芸	教芸	光村	学研	東書	東書	開隆堂
氷見	光村	光村	帝国	帝国	帝国	帝国	数研	東書	教出	教出	光村	学研	東書	東書	開隆堂
砺波	光村	光村	帝国	帝国	帝国	帝国	数研	東書	教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	開隆堂

ウ 高等学校

「平成 28 年度使用県立高等学校用教科書採択方針」に基づき、富山県高等学校教育研究会の組織を活用し、教科書の調査研究を行う。その結果をまとめ、採択資料を作成。各高等学校長は、この採択資料に基づいて教科書を選定し、県教育委員会に使用の申請を行い、県教育委員会が採択の決定を行う。

第3節 教育課程の展開

1 教育課程

(1) 学習指導について

(幼稚園) 生き生きと環境にかかわり、友達と楽しく遊ぶ幼児を育てる。

(小・中学校共通)

学ぶ意欲をもち、知識及び技能を確実に身に付け、活用しようとする児童生徒を育てる。

(2) 道徳の指導について

(小・中学校共通)

自らの生き方を見つめ、心豊かでたくましく生きる児童生徒を育てる。

(3) 特別活動の指導について

(小・中学校共通)

望ましい集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度と、自己を生かす能力を身に付けた児童生徒を育てる。

(4) 指導の重点（高等学校）（平成28年度）

科目	重点項目
国語	(1) 教材の精選と系統化を図り、指導計画及び指導内容を充実させる。 (2) 生徒個々の能力に即した主体的な学習態度を育成し、学習意欲の向上を図る。 (3) 中学校国語との関連を考慮し、基礎的・基本的な事項を中心に国語の力を高めるよう効率的・持続的な学習指導の展開に努める。
地理 歴史 公民	(1) 中学校社会科との関連や、各教科科目との連携を図り、基礎的・基本的事項の確実な定着を図るとともに、それらを活用する力の育成に努める。 (2) 社会的事象に対する興味、関心を高める指導法を工夫し、生徒の主体的な学習の姿勢を育てる指導の充実を図る。
数学	(1) 基礎的・基本的事項の理解を深め、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。 (2) 教材を精選し、生徒の実態に応じた指導法を工夫する。
理科	(1) 生徒の実態に応じ、教育内容の精選や指導法の改善に努め、基礎基本の確実な定着を図るとともに、科学的なものの見方や考え方を養う。 (2) 観察や実験を行い、生徒の興味と関心を高め、自然を探究する能力や態度が身につくよう努める。

科目	重点項目
保健 体育	<ul style="list-style-type: none"> (1) 運動の特性を生かし、主体的・意欲的に活動できるよう指導の工夫をする。 (2) 中・高一貫した指導によって、運動技能を習得させ、継続的に運動を實踐できる能力・態度を育てる。 (3) 学校教育全体を通じて、体力の向上、健康・安全の保持増進を図る。 (4) 保健については、目標の明確化・具体化を図り、生徒の実態に即した学習指導を工夫する。
芸術	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「豊かな人間性」を柱にした指導目標を重要視し、教材の精選を図るとともに指導計画を組織立てる。 (2) 生徒のもつ芸術的諸能力を着実に伸ばすよう持続的な学習指導を展開する。 (3) 表現や鑑賞の喜びを味わせるとともに、自主的・創造的に学習する意欲を高めるよう指導の工夫をする。 (4) 小・中・高の芸術科教育の一貫性を図るため、指導内容の関連に着目する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> (1) 指導内容を精選し、言語活動の効果的な展開を図る。 (2) 言語活動に対する学習意欲を高め、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 (3) 言語活動の評価を工夫する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学習目標の明確化を図り、基礎的な事項や発展的な事項を整理体系化するなど、指導法の改善・充実に努める。 (2) 実践的・体験的学習を推進するとともに、適時適切な評価を加え、主体的・創造的な学習態度の育成を図る。
情報	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度」を育てていくため、中学校での学習の程度を踏まえ他の各教科等の連携を図った指導計画の作成を図る。 (2) 「情報モラル」の確立を図るため、ルールの意味を正しく理解し、考え、行動できるよう適切な指導法を工夫する。
農業	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域や生徒の実態及び技術の進展に即して教材を精選構造化し、基礎的・基本的事項の指導の徹底を図る。 (2) 実験・実習を中核とした指導法の充実に努め、実践力と課題解決能力の育成に努める。
工業	<ul style="list-style-type: none"> (1) 幅広い専門分野に関する基礎的・基本的内容の精選及び指導法の改善・充実に努める。 (2) 探求心や創造性を培うため、ものづくりを中心とした体験的・実践的な学習活動の充実に努める。

科目	重点項目
商業	(1) 教育内容、教材の精選を図り、「専門性」の基礎・基本を重視した指導に努める。 (2) 時代の進展に対応した「専門性」の深化と生涯にわたり専門能力の向上を図る意欲を高めるため、実践的・体験的な学習の充実に努める。
水産	(1) 教材を精選構造化し、基礎的・基本的な知識・技術の指導の徹底を図る。 (2) 実験・実習を中核とした指導法の充実に努め、実践力と課題解決能力の育成に努める。
看護	(1) 基礎・基本を重視した5年一貫看護師養成教育の内容を構造化し、「臨地実習」を中心に、体系的な指導計画をたてる。 (2) 時代の進展に即応した知識・技術の習得を図るとともに、人間関係をベースとした看護の理念を体得させる。
福祉	(1) 学習目標の明確化、専門分野に関する基礎的・基本的事項の指導法の充実に努め、指導と評価の一体化を図る。 (2) 高い論理性や豊かな感性を育てる体験的・実践的な学習活動の工夫に努める。

(5) 教育課程研究協議会の研修主題（平成28年度）

ア 幼稚園教育研究協議主題

分科会協議主題	
協議主題1	幼稚園教育要領の理念を実現するための、各幼稚園における教育課程の編成、実施、評価、改善の一連のカリキュラム・マネジメントの適切な実施について
協議主題2	特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた計画的、組織的な指導の在り方について

イ 富山県小学校教育研究会各部会研究主題

部会	研究主題
国語科	主体的に言語活動に取り組み、論理的に思考する能力を身に付けていく子供の育成
社会科	社会的事象に進んで関わり、社会的な見方や考え方を確かにしていく子供の育成
算数科	自ら数理的な事象に働きかけ、考えを表現し深めていく子供を育むための指導の工夫
理科	自然に働きかけ、豊かな関わりをもちながら、科学的な見方や考え方を確かにしていく子供の育成
生活科・総合的な学習の時間	思いや願いをもって探究する子供の育成
音楽科	豊かに関わりながら『音楽のよさ』を感じ取り、主体的に表現していく子供の育成

部 会	研 究 主 題
図画工作科	豊かに関わりながら、つくりだす喜びを味わう子供の育成
家庭科	家族の一員として、主体的・協働的に学び、生活をよりよくしようとする子供の育成
体育科	動きの高まりを目指し、仲間と共に主体的に運動に取り組む子供の育成（運動領域）
	仲間と関わりながら、健康で安全な生活を理解し、進んで実践しようとする子供の育成（保健領域）
道 徳	主体的・協働的に自己の生き方についての考えを深め、よりよい生き方を求めて実践しようとする子供の育成
特別活動	望ましい集団活動を通して、主体的・協働的に探究し、よりよい生活や人間関係を築こうとする子供の育成
特別支援教育	主体的・協働的に学び、願いに向かって取り組み続ける子供の育成 －学ぶ楽しさや分かる喜びを実感できる授業づくりを通して－
保 健	心と体の健康づくりを主体的に実践していく子供の育成
外国語活動	外国語に親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子供の育成

ウ 富山県中学校教育研究会各部会研究主題

教科等	研 究 主 題
国 語	言語活動を通して、生徒が主体的に思考・判断・表現をしながら、言語能力を高めていくための指導はどうあればよいか。 －付けたい力に結び付く言語活動の工夫－
社 会	広い視野に立って、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるにはどのようにすればよいか。 －基礎的・基本的な知識、概念や技能を明確にし、指導と評価が一体となった指導過程や評価方法はどうあればよいか－ －思考力・判断力・表現力等を育てるための教材開発や学習活動はどうあればよいか－
数 学	数学的活動を通して、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学を学ぶことの楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる指導はどうあればよいか。 －数学的活動を通して、基礎的な概念等の理解を深め数学的な技能を確実に習得させることと、それらを活用して事象を数理的に考察し表現する能力を高めることにバランスよく取り組むための指導はどうあればよいか－
理 科	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的な見方や考え方を養うにはどうすればよいか。 －科学的な概念を使用して考えたり説明したりするなどの学習活動の工夫－

教科等	研 究 主 題
音 楽	音楽に対する感性を育て、豊かな情操を養うにはどうすればよいか。 －指導と評価の一体化を目指して－
美 術	美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育て、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める学習指導はどうあればよいか。 －美術の基礎的な能力の育成を目指して－
保健体育	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を育てる学習指導はどうあればよいか。 (体育分野) 身に付けた知識や技能を基に、その段階に応じ運動を豊かに実践していくための指導過程はどうあればよいか。 (保健分野) 自らの健康を管理し、改善しようとする実践力を育てるための指導過程はどうあればよいか。
技術・家庭	生活を工夫・創造し、社会を生き抜く力を育てる指導過程はどうあればよいか。
英 語	コミュニケーション能力の基礎を養うにはどのように指導したらよいか。 －4技能を総合的に育成するための言語活動を通して－
道 徳	集団や社会との関わりの中で、人間としての生き方を見つめ、共に豊かな心を育み、よりよく生きようとする生徒を育てる道徳の時間はどうあればよいか。 ～多様な教材・資料を活用した授業展開の工夫～
特別活動	学級活動において、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育成するための指導・援助はどうあればよいか。 －互いに認め合い、高め合う話合い活動を通して－
特別支援教育	特別な支援を必要とする生徒が自立や社会参加を実現するために、一人一人の教育的ニーズに応じた指導はどうあればよいか。 －個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づいた指導の充実－
保 健	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む能力や実践的な態度を育てる健康教育はどのようにすればよいか。 －生徒が健康で安全な生活を送る方法を自己決定し、実践するための指導の工夫－

(6)道徳（平成 27 年度実績）

ア 重点事業

○道徳教育研究指定校・校区 指定なし

イ 小学校教育研究会道徳部会 県東部 105 名、県西部 94 名

研究主題「豊かな関わりをもちながら自らに問いかけ、よりよい生き方を求めて実践しようとする子供の育成を目指して」

ウ 中学校教育研究会道德部会 県全体 138 人

研究主題「集団や社会との関わりの中で、人間としての生き方を見つめ、共に豊かな心を育み、よりよく生きようとする生徒を育てる道德の時間はどうかあればよいか。～自分の考えを表現し、深め合う授業展開の工夫～」

(7) 学校クラブ活動（平成 27 年度実績）

ア 高等学校家庭クラブ連合会総会・研修会

7 月 23 日（木） 氷見高校

対象 顧問教師 17 名、生徒 69 名

イ 北陸地区高等学校家庭クラブ研究発表大会（兼 県研究発表大会）

8 月 5 日（水） 富山県教育文化会館

対象 顧問教師 81 名、生徒 368 名

ウ 学校農業クラブ夏期クラブ員研修会

8 月 3 日（月）～4 日（火） 富山県砺波青少年自然の家

対象 顧問教師 7 名、生徒 31 名

エ 学校農業クラブ研究発表・意見発表・技術競技県大会

プロジェクト発表会 7 月 24 日（金） 5 発表 氷見市いきいき元気館

意見発表会 7 月 24 日（金） 15 発表 氷見市いきいき元気館

平板測量競技会 8 月 6 日（木） 12 チーム 南砺福野高等学校

オ 学校農業クラブ後継者研修会

11 月 12 日（木） 有限会社 津沢養鶏

小矢部園芸高等学校ほか

対象 顧問教師 7 名 生徒 22 名

(8) 特別活動 — 高等学校 —（平成 27 年度実績）

ア 大会等

高教研特活部会研究発表大会

10 月 13 日 総合教育センター

研究発表 3 校

講演 「いま、スポーツを考える」

富山県生涯スポーツ協議会事務局長 嶋田 利隆

イ 修学旅行

(ア) 共同宿泊学習（県立全日製の課程）

		1 年	2 年	3 年	合計
26 年度	学級数	120	22	12	154
	参加人数	4,784	869	476	6,129
27 年度	学級数	108	19	2	129
	参加人数	4,315	748	54	5,117

(イ) 国内研修・修学旅行

26年度	学級数	124
	参加人数	4,925
27年度	学級数	121
	参加人数	4,835

・主な方面
関東、関西、北海道など

(ウ) 海外派遣・留学状況（平成27年度実績）

内容	県立高校(人)
修学旅行	542
学校等による研修等	315
長期高校留学	4
県高校生海外派遣事業	20
合計	881

<修学旅行、学校等による研修>

・主な海外派遣先
台湾、韓国、中国、アメリカ、
オーストラリア、イギリスなど

・主な内容
ホームステイ交流、姉妹校交流、
語学研修等

2 進路指導・生徒指導・交通安全指導

(1) 進路指導（平成27年度実績）

ア 高等学校の部

(ア) 進路指導研修会

a 期 日 4月22日（水）

会 場 富山県総合教育センター382号室

内 容 進路状況と進路指導の充実について

b 期 日 7月31日（金）

会 場 富山県総合教育センター382号室

内 容 ・講演「教育改革が、キャリア教育に求めるもの」

金沢工業大学基礎教育部

教職課程教授 白木 みどり

・研究協議「キャリア教育の推進を図る進路指導の在り方」

滑川高等学校

藤井 秀一

雄峰高等学校

酒井 泉

富山視覚総合支援学校

飯田 融

- c 期 日 8月27日(木)
 会 場 富山県総合教育センター382号室
 内 容 ・講演「若者の明日を支える為に」～キャリア教育への一考察～
 地域人材コーディネート機関富山県事務局
 株式会社マイナビ 辻 素樹
 ・研究協議「キャリア教育の推進を図る進路指導の在り方」
 高岡商業高等学校 吉田 峰雄
 南砺福野高等学校 今村 照美
 富山視覚総合支援学校 中谷 英里香

- d 期 日 10月8日(木)
 会 場 富山県総合教育センター382号室
 内 容 ・講演「生徒の学習に対する動機付けに必要な知識」
 株式会社新日本コンサルタント
 代表取締役社長 市森 友明
 ・研究協議「キャリア教育の推進を図る進路指導の在り方」
 富山商業高等学校 沼田 栄
 新湊高等学校 小路 康子

(イ)中央講習会等への派遣

文部科学省

- ・全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会 1名
 (入善高等学校から1名を派遣)
- ・キャリア教育指導者養成研修 1名
 (高岡工芸高等学校から1名を派遣)

イ 小・中学の部

(ア)進路指導研修会

- 期 日 7月31日(金)
 会 場 富山県総合教育センター382号室
 内 容 ・講演「教育改革が、キャリア教育に求めるもの」
 金沢工業大学基礎教育部
 教職課程教授 白木 みどり
 ・研究協議「中学校におけるキャリア教育の推進 ―課題と方策―」

(イ)中央講習会への派遣

文部科学省

- ・全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会 2名
 (富山市立城山中学校、砺波市立庄川中学校から各1名を派遣)
- ・キャリア教育指導者養成研修 2名
 (入善町立入善中学校、高岡市立高陵中学校から各1名を派遣)

(2) 生徒指導（平成 27 年度実績）

ア 小学校生徒指導主事研修会

- ・期日等 東部地区（4月15日水橋ふるさと会館）
西部地区（4月15日福岡総合文化センター）
- ・受講者 小学校生徒指導主事

イ 中学校生徒指導主事研修会

- ・期日等 東部地区（4月15日水橋ふるさと会館）
西部地区（4月15日福岡総合文化センター）
- ・受講者 中学校生徒指導主事

ウ 学校カウンセリング講座

(ア)面接・面談コース（3回）

- ・期日・会場 6月24日、8月21日、9月11日
総合教育センター
- ・受講者 小・中・高・特の教諭・養護教諭等 25名

(イ)人間関係づくりコース（2回）

- ・期日・会場 7月30日、8月6日
総合教育センター
- ・受講者 小・中・高・特の教諭・養護教諭 60名

(ウ)事例研究コース（3回）

- ・期日・会場 6月26日、7月31日、8月19日
総合教育センター
- ・受講者 小・中・高・特の教諭・養護教諭 15名

(エ)チーム支援コース（2回）

- ・期日・会場 7月28日、9月25日
総合教育センター
- ・受講者 小・中・高・特の教諭・養護教諭 32名

エ 高等学校生徒指導主事研修会

- ・期日・会場 4月21日 総合教育センター
- ・受講者 高等学校・特別支援学校生徒指導主事 75名

オ 高等学校教育研究会生徒指導部会研究発表大会

- ・ 日 時 11月11日
- ・ 講 演 「事例にみるいじめの様態とその対応」
上越教育大学大学院 准教授 高橋 知己 氏
- ・ 研究発表 〈富山地区〉「本校の生徒指導」
富山中部高等学校 林 和貴
〈高岡地区〉「授業への遅刻数を減少させる取り組み」
志貴野高等学校 安居 末吉
〈砺波地区〉「本校生徒指導における現状と課題」
～一般的なマナー、ルールを理解と
さらなる規範意識の向上に向けて～
砺波高等学校 杉森 清文
- ・ 参加者 高等学校・特別支援学校生徒指導担当教頭及び生徒指導主事 150名

カ 地区別高等学校生徒指導協議会（含私立学校）

- ・ 開催回数等 各地区（新川・富山・高岡・砺波）年間4回
- ・ 参加者 高等学校・特別支援学校生徒指導担当教頭及び生徒指導主事

キ 生徒指導推進本部

- ・ 開催回数等 企画指導班、地区指導班の各会合は年間数回開催
- ・ 参加者 教育長を本部長に、副本部長の教育次長、企画指導班長の小中学校課長及び地区指導班長の2教育事務所長ほか県教育委員会の生徒指導関係の職員 19名
- ・ 研究協議事項 (1) 県下児童生徒の問題行動の実態
(2) 本県生徒指導の基本方針
(3) 学校・家庭・地域の連携と小・中・高一環の指導体制の確立

ク 生徒指導セミナー

- ・ 期日 6月17日、7月3日、7月29日、8月26日、9月24日、10月22日
- ・ 会場 総合教育センター
- ・ 受講者 小・中・高・特の教諭・養護教諭等 延べ368名
(第1回～第6回の中から希望する内容を選び受講する)

ケ 指導資料の刊行

- ・ 「高等学校生徒指導参考資料47」（各高校2部）
- ・ 「高校生はいま」（高校1年生の全家庭）
- ・ 「小学生の理解のために」（小学校1年生の全家庭）
- ・ 「中学生の理解のために」（中学校1年生の全家庭）

コ 地区別合同街頭補導

- ・ 祭礼特別補導
- ・ その他

(3) 交通安全指導（平成 27 年度実績）

ア 小・中学校生徒指導（交通安全）研修会

東部	西部	研修・協議内容
4月15日	4月15日	・交通指導の現状把握と交通指導の事例発表 ・正しい道路横断についての指導
水橋ふるさと会館	福岡総合文化センター	・地域における安全指導体制の整備強化 ・交通安全指導の時間のとり方について

イ 高等学校交通安全指導担当者研修会

- ・開催回数等 年1回
- ・協議内容 各学校における交通安全指導の体制と取り組み

ウ 交通安全に関する学警連絡会議

- ・開催回数 年4回
- ・会議の構成 県警察本部交通企画課、県教育委員会小中学校課、防災・危機管理課、県交通安全協会 計6名
- ・協議内容 児童生徒の交通事故防止、特に自転車等の事故を防止するため、交通安全指導の充実と交通道德の育成を図る。

エ 交通安全教室

- ・開催校 小192校、中80校、高44校（私立含）
- ・指導内容 交通安全意識の高揚、交通安全マナーの向上、法令の習熟、自転車・二輪車の実技指導
- ・協力機関 所轄警察署等

3 学校図書館教育

学校図書館（平成 27 年度実績）

図書館教育講習会

8月24日 74名

第4節 教職員

1 教職員数（公立）

平成28年度は、児童生徒数の減少に伴い、教員数は47人減少、職員数は26人減少した。

（各年度5月1日現在）

区分	児童生徒数			教員数			職員数			
	平成27年度	平成28年度	増減	平成27年度	平成28年度	増減	平成27年度	平成28年度	増減	
小学校	53,758	52,685	▲ 1,073	3,635	3,596	▲ 39	796	790	▲ 6	
中学校	29,059	28,502	▲ 557	2,129	2,102	▲ 27	294	294	0	
高等学校	全日制	21,315	21,296	▲ 19	1,684	1,691	7	357	341	▲ 16
	定時制	1,111	1,089	▲ 22	223	222	▲ 1	39	38	▲ 1
	通信制	897	922	25	19	18	▲ 1			
	専攻科	255	268	13	0	0	0	0	0	0
特別支援学校	1,236	1,247	11	876	890	14	164	161	▲ 3	
合計	107,631	106,009	▲ 1,622	8,566	8,519	▲ 47	1,650	1,624	▲ 26	

＜男女別年齢構成比（校長・教頭・教諭・養教・栄教）＞

（平成28年5月1日現在）

区分		～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～	計
小学校	男	9.4	13.3	8.9	9.0	6.9	13.5	21.3	17.7	100
	女	9.7	11.8	8.9	10.0	8.5	13.5	21.1	16.5	100
中学校	男	7.4	13.6	9.2	8.4	10.1	12.2	22.8	16.2	100
	女	6.9	13.2	10.9	9.8	13.4	14.7	19.2	11.8	100
高等学校	男	5.4	6.2	7.4	5.4	7.9	16.4	33.4	18.0	100
	女	6.0	9.3	6.1	9.0	9.8	22.3	25.3	12.3	100
特別支援学校	男	11.0	6.3	6.3	10.6	9.1	22.8	21.7	12.2	100
	女	5.7	9.4	9.1	9.2	15.3	19.4	20.2	11.7	100

※参考として平成26、27年度の表は、節末(P93)に記載してあります。

2 学級編制基準（平成28年度）

ア 小学校

	学級編制の区分	
(1)	同学年の児童で編制する学級 (第1学年の児童で編制する学級)	40人 35人)
(2)	2の学年の児童で編制する学級 (第1学年を含む学級)	15人 8人)
(3)	学校教育法第81条に規定する学級	8人

※ 小学校2年生は、少人数学級の研究を行う学校において、35人以下学級を実施する。

※ 小学校2年生、4年生、6年生において学級維持制度（ソフトランディング制度）を実施する。

※ 小学校3年生は、少人数学級の研究を行う学校において、35人以下学級を実施する。

イ 中学校

学級編制の区分	
(1)	同学年の生徒で編制する学級 40人
(2)	2の学年の生徒で編制する学級 8人
(3)	学校教育法第81条に規定する学級 8人

※ 中学校1年生は、少人数学級の研究を行う学校において、35人以下学級を実施する。

ウ 高等学校

		普	商	家	農	水	工	看	理	外	福	国	総
標準法による区分	22年度入学	40	40	40	40	40	40	40	40	—	40	40	40
	23年度入学	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	24年度入学	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	25年度入学	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	26年度入学	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	27年度入学	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	28年度入学	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
県の基準	22年度入学	40	40	40	30・20	40・20	40・30	40	40	—	25	40・30	40
	23年度入学	40	40	40	30・20	40・20	40・30	40	40	40	40	40・30	40
	24年度入学	40	40	40	30・20	40・20	40・30	40	40	40	40	40・30	40
	25年度入学	40	40	40	30・20	40・20	40・30	40	40	40	40	40・30	40
	26年度入学	40	40	40	30・20	40・20	40・30	40	40	40	30	40・30	40
	27年度入学	40	40	40	30・20	40・20	40・30	40	40	40	30	40・30	40
	28年度入学	40	40	40	30・20	40・20	40・30	40	40	40	30	40・30	40

エ 特別支援学校

学級編制の区分		
(1)	小学部	同学年の児童又は生徒で編制する学級 6人
	中学部	重複障害児童又は生徒で編制する学級 3人
(2)	高等部	重複障害生徒以外で編制する学級 8人
		重複障害生徒で編制する学級 3人

3 職員団体

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

団体名	所在地	代表者名	設 立 年 月 日	登 録 の 有 無	組 合 員 数	加 盟 上 部 団 体
富山県教職員組合	富山市千歳町 1-2-7	佐 幸 明	昭 21. 2. 3	有	小 1,657 人 中 807 人 高 1 人 特 433 人 計 2,898 人	日 教 組
富山県高等学校 教 職 員 組 合	富山市千歳町 1-2-3	増川利博	昭 27. 12. 13	有	高 1,105 人 特 14 人 計 1,119 人	全 教
富 山 県 教 職 員 協 議 会		金瀬雅志	昭 41. 10. 15	有	小 21 人 中 0 人 特 1 人 計 22 人	全 日 教 連
コム・ユニオン 富 山		水橋 透	平 3. 8. 7	有	小 2 人 中 1 人 計 3 人	な し

4 福利厚生

教職員の生活の安定と福祉の向上を図るため、県教育委員会、公立学校共済組合富山支部及び一般財団法人富山県教職員厚生会の三者が一体となり、事業を推進している。

特に、健康管理の強化に努めている。

(1) 福祉事業

ア 保健福祉事業

(ア) 平成 27 年度保健福祉事業実績

(単位：千円)

事業名	事業額	同 左 の 内 訳				概 要	
		県 費	公立共済	厚生会	本人負担		
人 間 ド ッ ク	75,272	12,876	38,794		23,602	1 日コース 脳コース	2,224 人 165 人
指定年齢人間ドック	46,463	19,814	26,649			40、45、50、55、57、59 歳の者	1,630 人
女 性 検 診	7,758	2,914	4,844			子宮、乳房	1,156 人
リラックスセミナー	22	11	11			希望者	7 人
ストレスドック	143	71	72			希望者	28 人
リラックス体験	72	36	36			ハイテク機器でリラックス体験 希望者	45 人
メンタルヘルス サ ポ ー ト	292		292			研修会等への講師派遣によるメンタルヘルス指導	
結核健康診断	2,023	2,023				県立学校教職員等を対象	
教 職 員 心の健康管理医	240	208	32			委嘱医によるメンタルヘルス相談	
生 活 習 慣 病 診 予 防 健 診	21,854	21,854				県立学校教職員等を対象	

事業名	事業額	同左の内訳				概要
		県費	公立共済	厚生会	本人負担	
特定保健指導	4,876	505	4,371			40歳以上の教職員及び被扶養者で保健指導対象者のうち、希望者 512人
被扶養者等特定健康診査	4,012		4,012			40歳以上の被扶養者及び任意継続組合員 451人
P E T 検 査	3,661		1,185		2,476	希望者 49人
宿泊施設利用補助	40,871		19,372	21,499		立山高原ホテル、高志会館、ホテル溪仙利用補助
教職員スポーツ・レクリエーション大会	483		483			地域大会を実施
生涯生活設計推進	296	87	209			退職予定者説明会
教職員美術展	1,796			1,796		富山県民会館美術館 10月15日～18日 出品点数 177点
福利とやま発行	2,044		2,044			全教職員に（年4回）
永年勤続退職者を送る集い	930			930		勤続20年以上の退職者を招待 116人
永年勤続者呈記念品贈呈	3,000		3,000			勤続30年表彰者等に10,000円の施設利用補助券贈呈 287人
被服等貸与	3,845	3,845				被服等貸与規程により職務上必要な被服等を貸与
手帳配付	1,823			1,823		全会員に配付
奨学資金交付	1,218			1,218		教職員遺児に奨学金交付 72人
海外派遣日本人学校等教員図書配付	147		147			12人
家族で楽しむ集い	593			451	142	・地引き網 77人 ・マジック教室 36人 ・きのこ狩り 42人 ・親子陶芸教室 27人
物故会員供物	133			133		会員の死亡に際し、香典と献花
教育文芸とやま	200			200		第21号 出品点数 95点
相 談	1,567			1,567		顧問弁護士、顧問公認会計士
ニューライフプラン	2,926	1,361		1,361	204	・「ライブプランセミナー」 満45歳以下 1会場 17人 ・「セカンドライフを考える集い」 満46～55歳 3会場 61人 ・「豊かな人生を拓く集い」 満56～60歳 3会場 147人
健康・余暇促進事業	31,227			31,227		会員と家族を対象に、健康の増進と余暇活動の促進をはかるため利用券を配布
文化公演鑑賞補助	1,561			1,561		芸術公演部門、スポーツ部門の各種チケットを特別料金で提供
合 計	261,348	65,605	105,553	63,766	26,424	

(イ) 平成 27 年度教職員等健康診断実施状況

a 胃検査結果

(単位:人、%)

区 分	※ 受診者数	異常なし		要観察者		要精検者		要医療者	
	A	人数B	C(B/A)	人数D	E(D/A)	人数F	G(F/A)	人数H	I(H/A)
市町村立学校教職員	3,375	2,809	83.3	466	13.8	85	2.5	15	0.4
県立学校教職員等	2,700	1,943	72.0	667	24.7	90	3.3	0	0.0
計	6,075	4,752	78.2	1,133	18.7	175	2.9	15	0.2

※胃カメラによる受診者等を含む。

b 血圧測定結果

区 分	受診者数	異常なし		要観察者		要精検者		要医療者	
	A	人数B	C(B/A)	人数D	E(D/A)	人数F	G(F/A)	人数H	I(H/A)
市町村立学校教職員	5,806	4,697	80.9	569	9.8	67	1.2	473	8.1
県立学校教職員等	3,605	2,669	74.0	397	11.0	137	3.8	402	11.2
計	9,411	7,366	78.2	966	10.3	204	2.2	875	9.3

c 尿検査結果

区 分	受診者数	異常なし		要観察者		要精検者		要医療者	
	A	人数B	C(B/A)	人数D	E(D/A)	人数F	G(F/A)	人数H	I(H/A)
市町村立学校教職員	5,735	5,217	90.9	378	6.6	95	1.7	45	0.8
県立学校教職員等	3,604	2,708	75.2	632	17.5	167	4.6	97	2.7
計	9,339	7,925	84.9	1010	10.8	262	2.8	142	1.5

d 心電図検査結果

区 分	※ 受診者数	異常なし		要観察者		要精検者		要医療者	
	A	人数B	C(B/A)	人数D	E(D/A)	人数F	G(F/A)	人数H	I(H/A)
市町村立学校教職員	3,875	3,445	88.9	340	8.8	60	1.5	30	0.8
県立学校教職員等	2,994	2,330	77.8	570	19.0	59	2.0	35	1.2
計	6,869	5,775	84.2	910	13.2	119	1.7	65	0.9

e 血液検査結果(貧血)

区 分	※ 受診者数	異常なし		要観察者		要精検者		要医療者	
	A	人数B	C(B/A)	人数D	E(D/A)	人数F	G(F/A)	人数H	I(H/A)
市町村立学校教職員	3,905	3,603	92.2	198	5.1	50	1.3	54	1.4
県立学校教職員等	3,261	2,606	79.8	521	16.0	103	3.2	31	1.0
計	7,166	6,209	86.7	719	10.0	153	2.1	85	1.2

f 血液検査結果(肝機能)

区 分	※ 受診者数 A	異常なし		要観察者		要精検者		要医療者	
		人数B	C(B/A)	人数D	E(D/A)	人数F	G(F/A)	人数H	I(H/A)
市町村立学校教職員	3,901	3,236	82.9	508	13.0	123	3.2	34	0.9
県立学校教職員等	3,266	2,367	72.5	688	21.1	184	5.6	27	0.8
計	7,167	5,603	78.1	1,196	16.7	307	4.3	61	0.9

g 血液検査結果(血中脂質)

区 分	※ 受診者数 A	異常なし		要観察者		要精検者		要医療者	
		人数B	C(B/A)	人数D	E(D/A)	人数F	G(F/A)	人数H	I(H/A)
市町村立学校教職員	3,907	2,181	55.8	1,102	28.2	190	4.9	434	11.1
県立学校教職員等	3,287	1,676	50.9	975	29.7	347	10.6	289	8.8
計	7,194	3,857	53.5	2,077	28.9	537	7.5	723	10.1

h 血液検査結果(血糖)

区 分	※ 受診者数 A	異常なし		要観察者		要精検者		要医療者	
		人数B	C(B/A)	人数D	E(D/A)	人数F	G(F/A)	人数H	I(H/A)
市町村立学校教職員	3,907	3,507	89.7	229	5.9	59	1.5	112	2.9
県立学校教職員等	3,281	2,677	81.6	426	13.0	70	2.1	108	3.3
計	7,188	6,184	86.0	655	9.1	129	1.8	220	3.1

(ウ) 平成 27 年度人間ドック実施状況

機関	種別	1 日コース	脳コース	計
北 陸 中 央 病 院		1,522 人	88 人	1,610 人
健 康 増 進 セ ン タ ー		384		384
黒 部 市 民 病 院		76		76
富山市医師会健康管理センター		112	77	189
北陸予防協会高岡総合健診センター		64		64
浦 田 ク リ ニ ッ ク		57		57
富 山 労 災 病 院		9		9
計		2,224	165	2,389

イ 公立学校共済組合福祉事業

(ア) 貸付事業（平成 27 年度貸付状況）

種別	平成 26 年度末残高		平成 27 年度実績		平成 27 年度末残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一 般	件 85	千円 60,608	件 11	千円 13,200	件 75	千円 53,317
住 宅	640	2,299,658	4	22,540	569	1,946,562
住 宅 災 害	0	0	0	0	0	0
在宅介護対応 住宅加算	(71)	(112,398)	(1)	(3,000)	(62)	(96,155)
教 育	23	34,623	5	14,800	21	30,529
災 害	0	0	0	0	0	0
医 療	0	0	0	0	0	0
結 婚	2	2,646	0	0	2	2,313
葬 祭	0	0	0	0	0	0
高 額 医 療	0	0	0	0	0	0
出 産	0	0	0	0	0	0
計	750 (71)	2,397,535 (112,398)	20 (1)	50,540 (3,000)	667 (62)	2,032,721 (96,155)

在宅介護対応住宅加算の()数字は住宅貸付に含まれるものの再掲

(イ) 宿泊事業（高志会館）

開設年月日	昭和 61 年 5 月 1 日			
施設の概要	名 称	公立学校共済組合富山宿泊所「パレブラン高志会館」		
	所在地	富山市千歳町 1-3-1		
	電 話	(076)441-2255(代表) FAX(076)441-1770		
	規 模	構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 7 階、地下 1 階建	
		面 積	延 9,065 m ²	
		設 備	宿 泊 室	24 室、定員 58 人
			会 議 室 等	会議室 9 室、定員 420 人 カルチャーホール、定員 240 人
そ の 他	和食、中国料理レストラン、 結婚式場（神殿・チャペル）、 スナック、喫茶、茶室、ラウンジ			

(平成 27 年度利用状況)

区 分	延定員	利用人員	利用率
宿 泊	21,170 人	9,272 人	43.8%
宿 泊 外	240,900 人	142,814 人	59.3%

(ウ) 保養所事業(立山高原ホテル)

開設年月日	昭和 50 年 7 月 20 日			
施設の概要	名 称	公立学校共済組合立山保養所「立山高原ホテル」		
	所在地	中部山岳国立公園立山天狗平		
	電 話	(076)463-1014 FAX(076)463-1029		
	規 模	構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 5 階	
		面 積	延 3,493.8 m ²	
		設 備	宿 泊 室	27 室、定員 78 人
会 議 室 等			会議室 1 室、定員 80 人	
そ の 他	レストラン、ロビー、売店 天体望遠鏡			

(平成 27 年度利用状況)

区 分	延定員	利用人員	利用率
宿 泊	9,906 人	3,930 人	39.7%
宿 泊 外	3,810 人	441 人	11.6%

(エ) 医療事業(公立学校共済組合北陸中央病院)

開設年月日	昭和 39 年 4 月 20 日 (平成 13 年 10 月 1 日 移転新築)		
施設の概要	名 称	公立学校共済組合「北陸中央病院」	
	所在地	小矢部市野寺 123	
	電 話	(0766)67-1150 (代表) FAX(0766)68-2716	
	診 療 科	内科・外科・整形外科・脳神経外科・婦人科(分娩休止中)・ 麻酔科	
		眼科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・皮膚科・リハビリテーション 科	
放射線科・(臨床検査科・栄養管理科)・歯科口腔外科・小児 科			
病 院 長	清 水 淳 三		
備 考	全国に 8 箇所直営病院を設置している。		

<年度別利用状況の推移>

区分 年度	総延患者数		富山支部組合員及び被扶養者の利用状況					利用総数
			延患者数		健康管理事業実施人数			
	入院	外来	入院	外来	1泊2日 ドック	1日 ドック	女性検診	
平成22	40,694	100,873	243	4,317	78	2,658	439	7,735
平成23	35,459	96,219	236	4,489	66	2,501	418	7,110
平成24	32,549	87,216	103	4,287	47	2,516	449	7,402
平成25	34,987	90,151	61	3,877	24	2,564	140	6,666
平成26	31,744	90,873	95	4,390	24	2,634	165	7,308
平成27	30,403	94,108	204	3,669	0	2,646	215	6,734

ウ 富山県教職員厚生会福祉事業

(ア) 貸付事業

種 別	最 高 限度額	利率(年利)	27年度貸付実績		27年度末貸付残高	
		変 動	件 数	金 額	件 数	金 額
	千円	%	件	千円	件	千円
生 活 貸 付	2,000	1.68	68	101,400	324	284,839
住 宅 貸 付	20,000	1.68	17	147,800	201	854,777
奨 学 貸 付	3,000	1.68	22	45,800	174	225,620
結 婚 貸 付	3,000	1.68	10	20,700	36	58,569
旅 行 資 金 貸 付					3	1,258
マイカーローン	3,000	1.68	56	107,600	239	232,300
物 品 購 入 貸 付	3,000	1.68	5	9,900	20	18,565
計	—	—	178	433,200	997	1,675,928

(イ) 保養所事業 (ホテル溪仙)

(平成27年度)

区 分	利 用 者 数			
	会 員	準 会 員	特 別 会 員	計
宿 泊	5,958人	302人	937人	7,197人
宿 泊 外	1,678	19	478	2,175
計	7,636	321	1,415	9,372

(ウ) 個人年金

いきいき年金	2,940 件
ドリーム年金・終身弔慰金プラン	1,146 件

(エ) 特別弔慰金

特別弔慰金加入口数 9,086 口

本人・配偶者弔慰金	7 件	3,312 万円	遺児年金	6 件	138 万円
-----------	-----	----------	------	-----	--------

(オ) 保険事業

がん保険	昭和 50 年 5 月より発足	加入件数	2,678 件
医療保険	平成 6 年 8 月より発足	加入件数	359 件
愛情年金	昭和 58 年 4 月より発足	加入件数	84 件
介護保険	平成 2 年 6 月より発足	加入件数	266 件

(カ) 相談事業

顧問弁護士・顧問公認会計士による会員及び家族の法律・税務相談を行っている。

(キ) 退職厚生部旧友事業（平成 27 年度事業実績）

事業名	事業内容
会員の慶弔見舞金	死亡弔慰金、災害見舞金を給付
支部活動助成	新川、富山、高岡、砺波の 4 支部毎に懇親会や各種事業を実施
慶寿会	喜寿・傘寿・米寿・卒寿・白寿の該当者 804 名(出席者 250 名)をホテルグランテラス富山に招待し、祝福
会員手帳配布	退職会員に会員手帳を配布
会報発行	機関紙「旧友」を全会員に配布(隔月)
金婚祝賀会	結婚 50 年を迎えた夫妻 49 組をホテルグランテラス富山に招待し祝福
囲碁麻雀県大会	支部対抗戦をホテル溪仙において開催
パークゴルフ大会	オープン参加による大会を開催
ゲートボール県大会	支部対抗戦を黒部市健康スポーツプラザにおいて開催
新会員歓迎の集い	新加入者会員を迎えホテル溪仙において開催
奉仕活動	「歳末たすけあい・海外たすけあい」運動に協力
研修旅行	日帰り研修旅行を実施
文芸とやま	現職・退職会員の投稿による文芸誌「文芸とやま第 21 号」を発行
健康余暇活動推進	温水プールや美術館などの利用補助券を配布
新会員確定申告説明会	富山・高岡の 2 会場で 3 回開催

(2) 給付事業

ア 公立学校共済組合の給付事業

(ア) 平成 27 年度短期給付実績

給付科目	件数	金額	割合 (金額)
	件	千円	%
療養の給付	101,152	977,238	44.71
家族療養の給付	66,343	547,526	25.05
高額療養の給付	634	76,713	3.51
療養費	4,988	22,408	1.03
家族療養費	2,496	12,578	0.58
高額療養費	363	19,405	0.89
出産費	167	70,564	3.23
家族出産費	50	20,973	0.96
埋葬料	8	400	0.02
家族埋葬料	6	300	0.01
弔慰金	1	547	0.02
家族弔慰金	0	0	0.00
災害給付	1	1,410	0.06
休業給付	1,786	360,481	16.49
附加給付	673	37,402	1.71
一部負担金払戻金	1,024	37,830	1.73
合計	179,692	2,185,775	100.00

(イ) 長期給付種別一覧

種別	給付事由
老齢厚生年金 (退職共済年金)	組合員期間等が 25 年以上ある者が退職した後に 65 歳に達したとき、 又は 65 歳に達した日以降に退職したとき。 なお、60 歳～65 歳までは「特別支給の老齢厚生（退職共済）年金」が 生年月日に応じて支給される。
障害厚生年金 (障害共済年金)	組合員である間に初診日のある傷病により、障害等級が 1 級・2 級又 は 3 級に該当する障害状態となったとき。
障害手当金 (障害一時金)	組合員である間に初診日のある傷病により退職した場合において、障 害厚生（共済）年金を支給するに至らない軽度の障害状態となったと き。（公務外での疾病に限る。）
遺族厚生年金 (遺族共済年金)	次の①～④のいずれかに該当し、その死亡当事において遺族がいると き。 ① 組合員が死亡したとき。

種 別	給 付 事 由
遺族厚生年金 (遺族共済年金)	② 退職後に、組合員である間に初診日がある傷病により当該受診日から起算して5年を経過する日前に死亡したとき。 ③ 障害厚生(共済)年金の受給権者が死亡したとき。(ただし、障害等級が1級若しくは2級の場合に限る。) ④ 老齢厚生(退職共済)年金の受給権者が死亡したとき、又は、組合員期間等が25年以上ある者が死亡したとき。
退 職 年 金	1年以上引き続き組合員期間がある者が、退職し65歳に達したとき。又は、65歳に達した者が退職したとき。(平成27年10月以降に組合員期間がある者に限る。)
公務障害年金	公務による傷病が原因で、障害厚生年金の給付事由に該当する障害状態となったとき。
公務遺族年金	公務による傷病が原因で、遺族厚生年金の給付事由に該当し、その死亡当事において遺族の方がいるとき。

(ウ) 年金新規決定状況

年 金 種 別	平成 26 年度			平成 27 年度		
	件 数	金 額	1件当たりの 平均年額	件 数	金 額	1件当たりの 平均年額
	件	千円	千円	件	千円	千円
老齢厚生(退職共済)年金	119	204,323	1,717	108	181,958	1,685
障害厚生(共済)年金	6	7,848	1,308	7	9,678	1,383
遺族厚生(共済)年金	10	13,890	1,389	6	7,733	1,289
合 計	135	226,061		121	199,369	

イ 恩給事業

区 分 種 別	平成 26 年度			平成 27 年度		
	受給者数	金 額	1件当たりの 平均額	受給者数	金 額	1件当たりの 平均額
	件	千円	円	件	千円	円
恩 給	23	33,201	1,443,521	18	24,685	1,371,388
扶 助 料	40	47,977	1,199,425	34	38,408	1,129,647
合 計	63	81,178		52	63,093	

ウ 富山県教職員厚生会給付事業

(ア) 一般事業部給付事業（平成 27 年度実績）

種 別	件 数	金 額	割 合
死 亡 弔 慰 金	16 件	3,120,000 円	0.86%
災 害 見 舞 金	1	100,000	0.03
出 産 見 舞 金	304	3,040,000	0.83
結 婚 祝 金	189	5,670,000	1.56
小 学 校 入 学 祝 金	221	2,210,000	0.61
中 学 校 卒 業 祝 金	382	3,820,000	1.05
銀 婚 祝 金	256	5,120,000	1.41
退 職 返 還 金	352	338,882,541	93.15
病 気 見 舞 金	54	945,000	0.26
会 員 特 別 給 付 金	29	870,000	0.24
計	1,804	363,777,541	100.0

(イ) 退職厚生部給付事業（平成 27 年度実績）

種 別	件 数	金 額	割 合
医 療 補 助 金 (現 職)	2,577 件	14,598,600 円	8.74%
医 療 補 助 金 (退 職)	12,939	87,143,300	52.15
弔 慰 金 (現 職)	7	210,000	0.12
弔 慰 金 (退 職)	236	6,780,000	4.06
脱 退 一 時 金	46	17,514,441	10.48
長 寿 祝 品 費	409	3,772,983	2.26
退 職 給 付 金	117	37,084,245	22.19
災 害 見 舞 金	0	0	0
計	16,331	167,103,569	100.0

【参考】

教職員数（公立）

平成27年度は児童生徒の減少に伴い、教員数は1人減少、職員は18人減少

（各年度5月1日現在）

区 分	児童生徒数			教員数			職員数			
	平成26年度	平成27年度	増減	平成26年度	平成27年度	増減	平成26年度	平成27年度	増減	
小学校	54,830	53,758	▲ 1,072	3,633	3,635	2	809	796	▲ 13	
中学校	29,596	29,059	▲ 537	2,141	2,129	▲ 12	293	294	1	
高等学校	全日制	21,393	21,315	▲ 78	1,679	1,684	5	362	357	▲ 5
	定時制	1,101	1,111	10	219	223	4	38	39	1
	通信制	857	897	40	19	19	0			
	専攻科	250	255	5	0	0	0	0	0	
特別支援学校	1,217	1,236	19	876	876	0	166	164	▲ 2	
合計	109,244	107,631	▲ 1,613	8,567	8,566	▲ 1	1,668	1,650	▲ 18	

〈男女別年齢構成比（校長・教頭・教諭・養教・栄教）〉

（平成27年5月1日現在）

区 分		～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～	計
小学校	男	9.9	11.0	9.5	8.7	7.0	13.9	24.2	15.8	100
	女	9.7	9.8	8.6	9.3	8.4	15.7	22.1	16.5	100
中学校	男	9.2	12.0	8.7	8.0	9.9	13.4	24.2	14.5	100
	女	7.3	12.1	10.1	11.3	11.3	18.6	19.4	10.1	100
高等学校	男	3.7	6.5	6.3	6.0	8.8	19.3	34.4	15.1	100
	女	5.4	8.9	5.8	8.6	11.9	24.3	22.0	13.3	100
特別支援学校	男	7.3	5.3	6.1	12.6	12.6	23.5	21.5	11.3	100
	女	4.8	9.0	8.8	11.0	18.3	19.7	18.8	9.7	100

第5節 保健・体育と学校給食

1 学校保健・安全

(1) 学校保健指導

ア 研修会・講習会（平成27年度実績）

名称	開催年月日	会場	参加数
養護教諭指導員研修会	27. 4. 16	県総合教育センター	9
養護教諭研修会	27. 4. 14	婦中ふれあい館	366
保健主事研修会	27. 5. 12	県総合教育センター	164
養護教諭研修会（1 / 3研修）	27. 11. 24	県総合教育センター	93
全国学校保健主事研究協議会	27. 8. 3～8. 4	国立オリンピック記念青少年総合センター	2
全国養護教諭研究大会	27. 8. 6～7	富山県富山市	327
薬物乱用防止教室講習会	27. 7. 28	高志会館	91
全国学校保健研究大会	27. 11. 6～7	愛媛県松山市	6
健康教育指導者養成研修 食育専門コース	27. 10. 20～23	茨城県つくば市	3
健康教育（1回目）コース	27. 6. 23～26	茨城県つくば市	3
健康教育（2回目）コース	27. 7. 13～16	茨城県つくば市	4
学校安全コース	27. 9. 14～18	茨城県つくば市	4
防災教育指導者講習会	27. 10. 20	高志会館	116
防犯教育指導者講習会	27. 11. 13	高志会館	122

イ 指導資料等の作成

名称	作成年月	配布先	作成部数
平成27年度学校保健統計調査のあらまし	28. 1	学校、地教委等に各2部配付	775
学校保健・学校安全関係の手引	28. 3	学校、地教委等に各3部配付	1,200

(2) 保健管理（平成27年度実績）

ア 学校保健対策

名称	年月日	摘要
健康教育実践優良学校表彰 ・総合の部門 ・近視予防の部門 ・よい歯の部門	27. 11. 4	各部門 優良校1校、準優良校1校、努力校2校（総合の部門3校）
健康づくりノート	28. 3	幼児・小学生・中学生全員に配布

イ 健康診断及び諸調査

名称	年月	摘要
定期健康診断	27年4～6月	県立学校児童生徒全員実施
胸部レントゲン撮影	〃	県立学校高校・特支高等部1年生に実施
心電図検査	〃	県立学校児童生徒1年生及び高校4年生実施
尿検査	〃	県立学校児童生徒全員実施
B型肝炎検査及びワクチン接種	〃	県立視覚総合支援学校生徒・教職員、 県立学校看護科教職員実施

ウ 学校保健に関する各種通知（平成27年度、学校・市町村教委等に通知）

- ・デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策手引き地方公共団体向け」について
- ・デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策手引き地方公共団体向け」の改訂について
- ・「感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律施行規則の一部改正する省令（平成27年度厚生労働省令第101号）」等について（周知依頼）
- ・児童、生徒、学生、幼児及び職員の健康診断の方法及び技術的基準の補足的事項及び健康診断票の様式例の取扱いについて
- ・学校における色覚の検査の実施について
- ・平成28年度からの児童生徒の健康診断の変更について
- ・アレルギー疾患対策基本法の施行について（施行通知）
- ・児童生徒の健康診断の適正な実施等について
- ・学校におけるてんかん発作時の座薬挿入について

<毎年配付>

- ・平成27年度「HIV検査普及週間」について
- ・平成27年度「世界エイズデー」の実施について
- ・平成27年度「世界エイズデー」ポスターコンクールの実施について
- ・平成27年度「歯と口の健康週間」の実施について
- ・学校における感染症・食中毒の予防について
- ・全国学校歯科保健研究大会ポスター発表募集について
- ・平成27年度結核予防週間の実施について
- ・感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発等について
- ・今冬の学校におけるインフルエンザ総合対策の推進について
- ・学校（園）におけるインフルエンザ様疾患予防対策の徹底について
- ・インフルエンザ流行拡大に関する注意喚起について
- ・学校における麻しん対策について

エ 各種研修会

<文科省主催研修会>

- ・平成27年度学校におけるアレルギー疾患に対する普及啓発講習会
- ・子どもの心のケア研究協議会
- ・平成27年度保健学習協議会
- ・平成27年度全国学校歯科保健研究大会
- ・平成27年度全国学校保健・安全研究大会
- ・平成27年度全国養護教諭研究大会

< 県医師会等研修会 >

- ・平成 27 年度乳幼児・学校保健講習会
- ・平成 27 年度小児がん講演会
- ・平成 27 年度女性健康相談及び不妊相談スキル向上研修会
- ・児童虐待防止研修会
- ・思春期ピアカウンセリングコーディネーター研修会
- ・性教育スキルアップ研修会

オ 各種資料等の配布（学校保健）

< 毎年配付 >

- ・「薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』子供たちを薬物乱用から守るために」
（小 6 保護者用）
- ・「高校卒業予定者のみなさんへ 薬物について誤解をしていませんか？」
（高校卒業予定者）
- ・平成 27 年度「歯と口の健康週間ポスター」
- ・平成 27 年度児童生徒の心と体を守るための啓発教材
「私の健康」（小学生用）
「かけがえのない自分、かけがえのない健康」（中学生用）
「健康な生活を送るために」（高校生用）

< 参考資料 >

- ・子供の心のケアのために（保護者用）

学校における感染症発生報告(学校における感染症による出席停止者数等)状況の年次推移
り患者数(人)

種別	疾病別	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
第 二 種	インフルエンザ* (季節性・新型)	幼稚園	321	337	198	282	126
		小学校	12,588	10,001	13,638	13,947	14,168
		中学校	3,203	3,648	3,432	5,231	4,833
		高等学校	922	2,280	1,501	2,047	2,141
	麻疹	幼稚園	0	0	0	0	0
		小学校	0	0	4	1	0
		中学校	0	0	0	0	0
		高等学校	0	0	0	0	0
	流行性 耳下腺炎	幼稚園	59	12	5	7	9
		小学校	847	180	124	227	839
		中学校	67	18	4	15	53
		高等学校	11	1	2	1	15
	風疹	幼稚園	2	1	0	0	0
		小学校	1	3	3	0	5
		中学校	0	0	0	0	1
		高等学校	0	1	0	0	0
	水痘	幼稚園	55	159	150	10	44
		小学校	317	327	491	383	380
		中学校	16	9	28	10	10
		高等学校	6	3	11	7	2
結核	幼稚園	0	0	0	0	0	
	小学校	0	0	0	0	0	
	中学校	0	0	0	0	0	
	高等学校	1	1	0	0	0	
第 三 種	細菌性赤痢	幼稚園	0	0	0	0	0
		小学校	0	0	0	0	1
		中学校	0	0	0	0	0
		高等学校	0	0	0	0	0
	腸管出血性 大腸菌感染症	幼稚園	0	0	0	0	0
		小学校	16	5	4	1	5
		中学校	5	0	2	0	3
		高等学校	7	1	2	0	0
	流行性 角結膜炎	幼稚園	1	4	0	1	1
		小学校	22	31	32	30	42
		中学校	8	5	11	9	8
		高等学校	6	2	10	2	7
	急性出血性 結膜炎	幼稚園	12	0	0	1	1
		小学校	0	0	0	1	61
		中学校	1	0	0	0	3
		高等学校	0	0	0	0	0
	溶連菌症	幼稚園	85	177	33	85	24
		小学校	2,836	3,380	2,009	1,835	1,553
		中学校	129	132	110	106	163
		高等学校	63	31	50	20	43
伝染性 膿痂疹	幼稚園	2	0	1	0	1	
	小学校	11	8	0	4	3	
	中学校	0	1	7	0	0	
	高等学校	0	0	1	0	0	
マイコプラズマ 感染性	幼稚園	42	12	3	5	4	
	小学校	956	551	123	56	478	
	中学校	166	136	40	14	119	
	高等学校	55	43	27	16	55	
その他	幼稚園	104	127	76	17	240	
	小学校	1,013	1,325	1,351	1,148	1,073	
	中学校	141	293	265	163	149	
	高等学校	119	291	322	159	165	
合計		24,310	23,598	24,070	25,841	26,828	

※新型インフルエンザについては、個別発生数と集団発生時の患者数を含んでいる。
※幼稚園は公立幼稚園のみ

(3) 安全指導（平成 27 年度実績）

ア 安全教育

項目	年月	摘要
・「健康のため水を飲もう推進運動」ポスター	27 年 6 月	学校・市町村教委に配布
・「アルコール関連問題啓発週間ポスター」の発送について	27 年 10 月	学校・市町村教委に配布
・「高校卒業予定者のみなさんへ 薬物について誤解をしていませんか？」の配布について	28 年 2 月	県立学校に配布
・小学生保護者用啓発読本「薬物乱用は『ダメ、ゼッタイ。』子どもたちを薬物乱用から守るために」の配布について	28 年 2 月	学校・市町村教委に配布
・高校生等による薬物乱用防止広報啓発ポスターの送付について	28 年 3 月	県立学校に配布
・「学校保健・学校安全関係の手引」	28 年 3 月	学校・市町村教委に配布

イ 安全に関する各種通知（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月、学校・市町村教委に通知）

- ・春の全国交通安全運動の実施について
- ・水泳等の事故防止について
- ・熱中症事故等の防止について
- ・「国民安全の日」における各種行事の実施について
- ・梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について
- ・薬物乱用防止教育の充実について
- ・「県民一斉防災訓練～シェイクアウトとやま～」の参加協力について
- ・通学路の交通安全の確保の徹底について
- ・秋の全国交通安全運動の実施について
- ・遊戯施設における消費者安全について
- ・土砂災害に係る学校防災マニュアルの点検等について
- ・津波防災の日の周知及び避難訓練の実施について
- ・降積雪期における防災態勢の強化等について
- ・融雪出水期における防災態勢の強化について
- ・自動体外式除細動器（AED）の設置登録情報の適切な更新について

ウ 安全管理

名称	年月日	摘要
日本スポーツ振興センター 災害共済給付制度加入	27. 5. 1	県立学校児童生徒 24,056 人

(学校管理下における災害発生状況)

区分	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	災害発生 件数 (件)	災害発生率 (%)	災害発生 件数 (件)	災害発生率 (%)	災害発生 件数 (件)	災害発生率 (%)
小学校	3,685	6.46	3,481	6.26	3,473	6.37
中学校	3,557	11.62	3,517	11.47	3,323	11.03
高等学校	2,189	7.41	2,138	7.25	2,342	7.97
高等専門学校	80	5.63	65	4.75	116	8.24
幼稚園	144	2.07	164	2.54	135	2.66
幼保連携	-	-	-	-	101	2.61
保育所等	534	1.89	561	1.98	526	2.06
計	10,189	6.62	9,926	6.53	10,016	6.68

(注) 災害発生率 = 災害発生件数 ÷ 児童生徒数 × 100

(注) 「幼保連携」については、平成 27 年度より日本スポーツ振興センターが
集計区分を変更

2 学校給食

(1) 学校給食指導（平成 27 年度実績）

〈県内研修会 講習会〉

名称	開催年月日	会場	参加人数
栄養教諭・学校栄養職員等研修会	27. 5. 14	富山市（総合教育センター）	111 人
	27. 8. 26	富山市（総合教育センター）	106 人
給食主任研修会	27. 5. 21	富山市（総合教育センター）	154 人
	27. 5. 26	富山市（総合教育センター）	37 人
学校給食指導者研修会	27.10. 23	富山市（総合教育センター）	37 人
	27. 8. 11	富山市（富山短期大学）	90 人
第 60 回富山県学校給食研究協議会	27.10. 23	富山市（総合教育センター）	169 人

(2) 学校給食栄養管理

区分		小学校			中学校		
		栄養摂取 の基準 A	摂取栄養量 の平均 B	B/A (%)	栄養摂取 の基準 A	摂取栄養量 の平均 B	B/A (%)
エネルギー	kcal	640	656	103	820	822	100
たん白質	g	25.0	26.6	106	30.0	32.9	110
脂質	g	21.3	20.7	97	27.3	24.4	89
食塩相当量	g	2.5 未満	2.5	100	3.0 未満	3.0	100
カルシウム	mg	350	380	109	450	427	95
マグネシウム	mg	80	103	129	140	128	91
鉄	mg	3.0	2.9	97	4.0	3.8	95
亜鉛	mg	2.0	3.2	160	3.0	4.1	137
ビタミンA	μg	170	296	174	300	296	99
ビタミンB1	mg	0.40	0.65	163	0.50	0.86	172
ビタミンB2	mg	0.40	0.60	150	0.60	0.68	113
ビタミンC	mg	20	36	180	35	43	123
食物繊維	g	5.0	4.9	98	6.5	6.2	95

(3) 学校給食実施状況

ア 学校給食形態別実施状況（公立）

（平成 27 年 5 月 1 日）

区 分	総数	完全給食		補食給食		計	
		実施数	実施率	実施数	実施率	実施数	実施率
小 学 校	校 192	校 192	% 100.0	校 0	% 0.0	校 192	% 100.0
	人 53,758	人 53,642	% 99.8	人 0	% 0.0	人 53,642	% 99.8
中 学 校	80	80	100.0	0	0.0	80	100.0
	29,059	28,919	99.5	0	0.0	28,919	99.5
夜間定時制 高等学校	4	4	100.0	0	0.0	4	100.0
		54		0		54	
特別支援学校	14	11	78.6	0	0.0	11	78.6
		1,006		0		1,006	
合 計	290	287		0		287	
		83,621		0		83,621	

※ 総数には休校、分校を除く

イ 米飯給食実施状況（公立）

（平成 27 年 5 月 1 日）

区 分	完全給食 実施校	完全給食実施校に対 する米飯給食の実施		米飯給食の形態別実施状況			
				自校炊飯		委託炊飯	
	児童生徒数	実施数	実施率	実施数	実施率	実施数	実施率
小学校	校 192	校 192	% 100.0	校 45	% 23.4	校 147	% 76.6
	人 53,642	人 53,642	% 100.0	人 6,212	% 11.6	人 47,430	% 88.4
中学校	80	80	100.0	19	23.8	61	76.2
	28,919	28,919	100.0	3,737	12.9	25,182	87.1
夜間定時制 高等学校	4	4	100.0	0	0.0	4	100.0
	54	54	100.0	0	0.0	54	100.0
特別支援学校	11	11	100.0	9	81.8	2	18.2
	1,006	1,006	100.0	962	95.6	44	4.4
合 計	287	287	100.0	73	25.4	214	74.6
	83,621	83,621	100.0	10,911	13.0	72,710	87.0

(4) 学校給食物資の需給状況

ア 基本物資取扱量

品目 年度	パン	ソフト麺	脱脂粉乳	牛乳	精米	アルファ化米
	個	食	k g	本	k g	k g
12年度	6,277,932	405,475	16,389	18,996,767	1,140,897	5,440
13年度	6,258,735	425,114	15,873	18,950,449	1,153,995	4,512
14年度	5,971,714	421,531	14,725	18,651,791	1,044,925	4,426
15年度	5,788,204	434,317	14,890	18,717,706	1,054,879	4,338
16年度	5,202,356	402,587	13,954	18,163,931	1,016,352	4,344
17年度	5,687,540	386,113	14,139	18,135,988	1,003,148	4,250
18年度	5,623,702	421,433	14,535	18,476,908	994,757	2,202
19年度	5,823,354	417,740	12,877	18,577,882	978,144	3,823
20年度	5,831,293	430,096	14,066	18,552,379	988,228	3,980
21年度	5,786,076	445,485	12,079	18,147,681	961,817	3,472
22年度	5,750,050	451,442	13,429	18,411,369	981,104	316
23年度	5,296,966	423,569	11,606	18,423,283	1,018,222	402
24年度	5,060,182	409,044	11,209	18,285,441	1,032,210	386
25年度	4,900,625	420,556	10,620	18,046,268	1,013,950	212
26年度	4,619,702	415,907	9,850	17,817,013	997,607	284
27年度	4,486,120	405,682	9,144	17,385,056	977,251	242

イ 基本物資価格（1食当り）

（単位：円）

品目 年度	米飯 (100 g)	パン (80 g)	ソフト麺 (100 g)	牛乳 (200ml)
12年度	62.07	40.12	40.13	34.62
13年度	61.74	40.38	40.34	36.49
14年度	61.50	40.25	40.34	37.45
15年度	60.93	40.08	40.20	38.02
16年度	61.73	40.14	40.26	39.00
17年度	60.87	40.12	40.20	38.99
18年度	60.18	39.85	39.60	39.53
19年度	59.63	39.80	39.42	38.61
20年度	58.25	41.94	41.64	41.09
21年度	57.90	40.87	41.04	44.83
22年度	57.61	39.63	40.00	44.20
23年度	54.91	41.25	40.00	44.60
24年度	58.61	42.90	41.00	45.31
25年度	60.01	40.90	40.30	45.45
26年度	56.96	41.31	40.30	46.58
27年度	53.61	42.22	41.55	47.83

3 学校体育

(1) 講習会・研修会（平成 27 年度実績）

名 称	開催期間	会 場	参加人数
子どもの体力向上指導者養成研修	27. 5. 19～22	千葉県	6
水泳指導者講習会	27. 6. 4	富山市	48
集団登山引率者講習会	27. 6. 10～11	室堂周辺	40
〃	27. 6. 17～18	〃	23
学校体育実技指導者講習会(中・高等学校)	27. 6. 25	富山市	62
学校体育実技指導者講習会(小学校)	27. 7. 25、27	富山市、砺波市	137
運動部活動指導者研修会	27. 11. 26	富山市	31

(2) スポーツ活動（平成 27 年度実績）

ア 中学校スポーツ大会

・大会実績

大 会 名	開催期間	会 場	参加人数
富山県中学校総合選手権大会(18競技)	27. 7. 4～20	県内 20 会場	4,164
同 (冬季1競技)	28. 1. 12～14	富山市・南砺市	87
北信越中学校総合競技大会(16競技)	27. 8. 4～7	福井県	834
全国中学校体育大会(16競技)	27. 8. 17～25	北海道・東北ブロック	183
同 (冬季1競技)	28. 2. 4～6	北海道	28
富山県中学校駅伝競走大会	27. 10. 3	富山県総合運動公園	1,293
富山県中学校選抜体育大会(15競技)	27. 10. 10～11. 15	県内 13 会場	2,375

・全国大会の成績

全国中学校体育大会

順位	競 技	種 目	チーム(個人)名
1 位	ハンドボール 陸上競技	男子 男子 4×100mリレー	氷見市立西條中学校 五十嵐晴紀、西川 樹 南保 陸駆、川口陽南太 (富山市立北部中学校)
2 位	バドミントン	女子ダブルス	石田 有彩、高木 梨名 (富山市立和合中学校)
3 位	軟式野球 バドミントン	男子ダブルス	氷見市立北部中学校 新家 陽介、木田 能大 (上市町立上市中学校)

全国中学生選手権大会等

順位	競 技	種 目	チーム(個人)名
1 位	カヌー 相撲	男子カヤックペア 軽量級	松崎 巧実、稲田 直大 (上市町立上市中学校) 藤澤 詩音(富山市立呉羽中学校)
2 位	水泳	女子3mシンクロ飛板飛込	長澤 明生(高岡市立芳野中学校)
3 位	ホッケー	男子	小矢部市立石動中学校

イ 高等学校スポーツ大会

・大会実績

大会名	開催期間	会場	参加人数
富山県高等学校春季大会 (23 競技)	27. 4. 11～5. 10	県内 26 会場	7, 066
富山県高等学校総合体育大会(夏季)	27. 5. 23～6. 27	県内 45 会場	8, 982
※35 競技 (冬季)	27. 10. 25～28. 1. 14		
富山県高等学校秋季大会 (20 競技)	27. 8. 24～11. 23	県内 33 会場	6, 232
富山県高等学校新人大会 (28 技)	27. 8. 6～28. 1. 23	県内 32 会場	8, 096
北信越高等学校体育大会 (30 技)	27. 5. 24～11. 22	北信越 5 県	1, 646
北信越高等学校定通制体育大会 (7 競技)	27. 10. 17～18	石川県	90
全国高等学校総合体育大会(夏季)	27. 7. 28～8. 20	京都、大阪、奈良、兵庫	595
※32 競技 (冬季)	28. 1. 20～2. 8	和歌山、滋賀、 青森、岩手	
全国高等学校定通制体育大会(8 競技)	27. 8. 1～8. 20	東京都 神奈川 静岡	138
特別支援学校全国大会(2 競技)	27. 8. 19～11. 15	愛知県 千葉県	12
全国高等学校選抜大会(28 競技)	27. 8. 6～28. 4. 7	東京都他 15 道府県	403

・全国大会等の成績

全国高等学校総合体育大会

順位	競技	種目	チーム(個人)名
1 位	ホッケー ボート フェンシング	女子 男子シングルスカル 女子個人エペ	石動高校 鎌田 拓也 (富山第一高校) 前田 友菜 (富山西高校)
2 位	スキー	ノルディック男子 10 km フリー	山下 陽暉 (南砺平高校)
3 位	陸上競技 ホッケー フェンシング	女子 5000m 競歩 男子 女子学校対抗	山本龍太郎 (富山商業高校) 石動高校 富山西高校

全国高等学校選抜大会

順位	競技	種目	チーム(個人)名
1 位	スキー ホッケー	ノルディック男子 10 km クラシカル ノルディック男子 15 km フリー 女子	山下 陽暉 (南砺平高校) 山下 陽暉 (南砺平高校) 石動高校
2 位	ウェイトリフティング	女子 75kg 級	星名沙耶香 (滑川高校)
3 位	自転車 ウェイトリフティング 卓球	男子 3 km インディビジュアルパーシュート 男子 105 kg 超級 男子シングルス	村田 祐樹 (氷見高校) 中嶋 駿太 (滑川高校) 大淵 孝二 (砺波工業高校)

第70回国民体育大会 本大会

順位	競技	種目	チーム（個人）名
1位	陸上競技 ボート ウェイトリフティング 相撲 カヌー	少年男子 5000m W 少年男子ダブルスカル 成年男子 56 kg級 C&J 成年男子 少年女子スプリント K-2 (500m)	山本 龍太郎 (富山商業高校) 江本 拓斗 (八尾高校) 鎌田 拓弥 (富山第一高校) 押田 真 富山選抜 浦田 樹里 (水橋高校) 中田 舞絢 (上市中学校)
2位	ボート ハンドボール カヌー	少年男子舵手つきクォドルプル 少年男子 少年女子スプリント K-2 (200m)	富山選抜 富山選抜 浦田 樹里 (水橋高校) 中田 舞絢 (上市中学校)
3位	レスリング レスリング ウェイトリフティング ウェイトリフティング	成年男子フリースタイル 57kg級 成年男子グレコローマンスタイル 98kg級 成年男子 +105kg級 スナッチ 成年男子 +105kg級 C&J	苅部 優希 木下 駿 村上英士朗 村上英士朗

全国ジュニア大会等

順位	競技	種目	チーム（個人）名
1位	ウェイトリフティング 相撲 シンクロイズドスイミング 陸上競技 スキー ボクシング	女子 58 kg級 女子団体 フリーコンビネーション 一部女子走高跳 男子クロスカントリー-10km クラシカル ジュニアの部フェザー級	谷口さつき (滑川高校) 紅谷 樹里 (高岡向陵高校) 室木 瑞帆 (富山いずみ高校) 藤信 美紀 (高岡聴覚総合支援学校) 山下 陽暉 (南砺平高校) 菊地 流奈 (富山西高校)
2位	ウェイトリフティング ライフル射撃 陸上競技	女子団体 10mエア・ライフル少年女子立射 40発 男子 100m	滑川高校 石崎 来果 (南砺福光高校) 福島 聖 (富山商業高校)

第6節 学校施設設備

公立学校施設の状況

(1) 公立学校校地等の状況

(平成28年5月1日現在 単位：㎡)

区分	年 度	学校数			児 童 生徒数	校 地 面 積			
		本 校	分校	冬期 分校		保 有			
					計	建物敷地	屋外運動	実 習	借 用
幼稚園	28	29	0	0	1,280	50,377	37,722	3,432	4,366
	27	29	0	0	1,277	48,142	37,510	3,432	4,366
小学校	28	191	1	0	52,685	1,770,940	1,698,607	37,252	210,462
	27	194	1	0	53,758	1,793,935	1,713,541	40,771	213,673
中学校	28	80	1	0	28,502	1,050,735	1,120,541	69,280	142,909
	27	80	1	0	29,059	1,053,467	1,117,767	69,411	142,909
全日制高校	28	37	1	0	21,315	757,833	871,464	578,859	96,920
	27	37	1	0	21,336	754,727	870,142	579,564	96,026
定時制高校	28	4	1	0	1,070	45,066	37,614	32,642	9,379
	27	4	1	0	1,090	45,066	37,614	32,642	9,379
視覚総合 支援学校	28	1	0	0	29	15,510	784	0	0
	27	1	0	0	26	15,510	784	0	0
聴覚総合 支援学校	28	2	0	0	89	7,748	7,300	309	17,175
	27	2	0	0	78	7,748	7,300	309	17,175
特別 支援学校	28	10	1	0	1,129	109,582	57,833	43,252	70,424
	27	10	1	0	1,132	109,582	57,833	43,252	70,424
計	28	354	5	0	106,099	3,807,791	3,831,865	765,026	551,635
	27	357	5	0	107,756	3,828,177	3,842,491	769,381	553,952

(注) 1 幼稚園には、幼保連携型認定こども園を含む。

2 全日制高校には、全定併置校を含む。

3 「児童生徒数」欄中全日制高校分には、全定併置校の定時制生徒を含む。

(平成28年度 19名、平成27年度 21名)

4 学校数には休園、休校を含む。

(2) 公立学校校舎の状況

(平成28年5月1日現在 単位：㎡)

区分	年 度	必要面積	保 有 面 積				整 備 資格面積	危 険		要改築 面 積
			R C	S	W	計		面積	学校数	
幼稚園	28	24,956	13,488	3,321	5,084	21,893	5,637	0	0	0
	27	23,793	12,880	3,316	5,084	21,280	5,219	0	0	0
小学校	28	760,450	812,170	26,385	1,629	840,184	37,259	8,855	3	8,616
	27	769,783	822,214	25,930	1,664	849,808	38,862	8,528	2	4,839
中学校	28	397,359	448,500	11,115	184	459,799	8,910	3,076	1	2,040
	27	404,292	445,811	11,118	191	457,120	11,368	8,348	3	6,516
全日制高校	28	508,061	334,632	21,733	3,472	359,837	24,201	676	2	676
	27	506,692	336,437	21,382	3,472	361,291	25,714	676	2	676
定時制高校	28	68,244	26,785	2,161	226	29,172	3,803	0	0	0
	27	68,065	26,785	2,161	226	29,172	3,338	0	0	0
視覚総合 支援学校	28	7,066	6,142	128	10	6,280	1,330	1,713	1	1,203
	27	7,052	6,142	128	10	6,280	1,318	1,713	1	1,203
聴覚総合 支援学校	28	13,311	7,528	885	25	8,438	5,282	0	0	0
	27	13,458	7,528	885	25	8,438	5,170	0	0	0
特別 支援学校	28	85,324	56,385	4,871	106	61,362	28,658	886	2	886
	27	84,810	58,306	4,939	106	63,351	26,754	2,097	2	2,097
計	28	1,864,771	1,705,630	70,599	10,736	1,786,965	115,080	15,206	9	13,421
	27	1,877,945	1,716,103	69,859	10,778	1,796,740	117,743	21,362	10	15,331

- (注) 1 幼稚園には、幼保連携型認定こども園を含む。
 2 全日制高校には、全定併置校を含む。
 3 全日制高校の必要面積及び整備資格面積に含まれる定時制分はそれぞれ、平成28年度は597㎡、295㎡、平成27年度は597㎡、295㎡

(3) 公立学校屋内運動場の状況

(平成28年5月1日現在 単位：㎡)

区分	年度	必要面積	保有面積				整備 資格面積	危険		要改築 面積
			R C	S	W	計		面積	学校数	
小学校	28	206,271	157,925	52,694	20	210,639	18,707	695	1	695
	27	211,000	160,728	52,755	97	213,580	20,062	1,524	2	805
中学校	28	104,904	86,572	32,971	496	120,039	7,873	1,107	1	1,107
	27	105,527	86,672	34,763	496	121,931	8,493	1,142	1	0
全日制高校	28	75,645	91,519	51,116	83	142,718	1,724	0	0	0
	27	76,334	91,519	51,116	83	142,718	1,724	0	0	0
定時制高校	28	9,592	5,653	1,291	490	7,434	4,382	397	1	0
	27	9,592	5,653	1,291	490	7,434	4,382	397	1	0
視覚総合 支援学校	28	1,135	1,155	0	0	1,155	509	0	0	0
	27	1,135	1,155	0	0	1,155	509	0	0	0
聴覚総合 支援学校	28	2,270	700	852	0	1,552	756	0	0	0
	27	2,270	700	852	0	1,552	756	0	0	0
特別 支援学校	28	14,159	6,440	3,915	0	10,355	5,635	0	0	0
	27	14,159	6,440	3,915	0	10,355	5,635	0	0	0
計	28	413,976	349,964	142,839	1,089	493,892	39,586	2,199	3	1,802
	27	420,017	352,867	144,692	1,166	498,725	41,561	3,063	4	805

(注) 1 全日制高校には、全定併置校を含む。

2 全定併置校については、定時制分の必要面積及び整備資格面積は 0㎡となる。

(4) 公立学校寄宿舎の状況

(平成28年5月1日現在 単位：㎡)

区分	年 度	必要面積	保 有 面 積				整 備 資格面積	危 険		要改築 面 積
			R C	S	W	計		面積	学校数	
小学校	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	28	0	3,146	0	0	3,146	0	0	0	0
	27	0	3,146	0	0	3,146	0	0	0	0
全日制高校	28	5,401	5,897	1,081	0	6,978	578	0	0	0
	27	5,321	5,897	1,081	0	6,978	498	0	0	0
定時制高校	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
視覚総合 支援学校	28	643	511	0	0	511	173	0	0	0
	27	533	511	0	0	511	132	0	0	0
聴覚総合 支援学校	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別 支援学校	28	3,806	2,789	501	0	3,290	1,508	0	0	0
	27	4,621	2,789	501	0	3,290	2,167	0	0	0
計	28	9,850	12,343	1,582	0	13,925	2,259	0	0	0
	27	10,475	12,343	1,582	0	13,925	2,797	0	0	0

第7節 教育に関する調査研究等

平成27年度 富山県総合教育センター事業実績

(1) 調査研究事業

- 研究1 教員の指導力向上に関する調査研究
－学校間（異校種間）連携の視点から－
- 研究2 児童も教員も充実感を味わえる理科教育支援の在り方（2年次）
－観察・実験教材の開発と指導力育成のポイント－
- 研究3 学級の集団づくりプログラムの効果に関する調査研究（2年次）
－中学校における対人関係ゲームを用いた仲間づくり－

(2) 研修事業

ア 基本研修

研修会名	対象	人数	回数
若手教員研修			
初任者研修会	新規採用教諭	211	15
2年次教員研修会	教職経験1年を経た教諭	195	3
3年次教員研修会	教職経験2年を経た教諭	157	1
新規採用教職員研修会	新規採用教職員		
	幼稚園教諭、保育教諭	39	8
	養護教諭	19	13
	学校栄養職員	2	12
6年次教職員研修会	教職経験5年を経た教職員	139	4
11年次教職員研修会	教職経験10年を経た教職員	120	13
16年次教職員研修	教職経験15年を経た教職員	335	－
特別支援学級等新任担当教員研修会	新任特別支援学級等担当者該当者	77	5
新任教務主任研修会	新任教務主任	75	3
校内研修活性化研修会	中堅教員（各種主任等）	34	3
小・中、県立学校教頭研修会	初任教頭	70	2
園長等運営管理協議会	幼稚園長または主任教諭等	67	2

イ 専門研修

研修会名	対象	人数	回数
理科教育講座（実験）学級担任のための 小学校理科実験 （自然観察）	小・特 小・中・特	13 31	2 4
理科教育講座（実験）中学校コース	中・特	11	1
理科教育講座（実験）高等学校コース	高・特	11	1
高等学校理科実験実技研修会	高・特	26	2×2班
初歩からのプログラミング研修会 （Java言語コース）	小・中・高・特	15	1
（C言語コース）	小・中・高・特	8	1

学校カウンセリング講座 (面接・面談コース)	小・中・高・特	24	3
(人間関係づくりコース)	小・中・高・特	60	2
(事例研究コース)	小・中・高・特	11	3
(チームによる支援コース)	小・中・高・特	30	2
生徒指導セミナー	小・中・高・特	370(延数)	5
校務のためのPC活用研修会 (誰でも簡単!情報発信コース)	幼・小・中・高・特	43	3
(便利で簡単!校務処理コース)	幼・小・中・高・特	52	3
(一括で処理!校務VBAコース)	幼・小・中・高・特	24	2
デジタル教材活用研修会 (プレゼンテーション活用コース)	幼・小・中・高・特	17	2
(動画制作・活用コース)	幼・小・中・高・特	13	2
授業力向上のためのICT活用研修会	幼・小・中・高・特	44	2×2班
児童生徒のICT活用の充実と 情報モラル指導研修会	幼・小・中・高・特	21	2×2班
特別支援教育講座 (基礎から学ぶ自立活動実践コース)	小・中・特	28	2
(アセスメントを指導に生かすコース)	幼・小・中・高・特	28	2
(読み書き支援コース)	小・中・高・特	41	2
特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり講座	幼・小・中・高・特	35	2
発達障害教育研修会	幼・小・中・高・特	82	1
基礎と実践を学ぶ特別支援教育コーディネーター研修会	幼・小・中・高・特	34	2
特別支援学校に学ぶ体験型研修会	小・中・高	72	3
外国人児童生徒教育実践講座	幼・小・中・高・特	16	2
県立学校経営研修会	高・特	30	3
保育技術協議会	幼・保	53	2

ウ 生徒実習

担当	学科	学習内容	対象	人数	日数	備考
科 学 情	理数科 学科	<ul style="list-style-type: none"> 音や光の屈折及び回折・干渉、D VDのトラックピッチの測定、空 き缶分光器の製作 アルコールの分留と定量、食品に 含まれる酸化防止剤の定量、水に 溶解している各種イオンの定量、 有機化合物の合成とIRによる 同定 カエルの解剖、ゾウリムシの繊毛 運動の観察 微化石による古環境解析 	高岡(2年)	49	1	1校 2学級

報 部	普通科	<ul style="list-style-type: none"> 音や光の屈折及び回折・干渉、D V Dのトラックピッチの測定、空き缶分光器の製作 アルコールの分留と定量、食品に含まれる酸化防止剤の定量、水に溶解している各種イオンの定量（2年）、有機化合物の合成とI Rによる同定（1・2年） ニワトリ胚の観察（またはカエルの解剖）、ゾウリムシの繊毛運動の観察 微化石による古環境解析 	入善（自然科学コース2年） 富山東（自然科学コース1年） 南砺福野（2年）	94	3	3校 3学級
	看護科	<ul style="list-style-type: none"> 音や光の屈折及び回折・干渉、D V Dのトラックピッチの測定、空き缶分光器の製作 生化学・有機化学の基礎実験、医薬品の合成 カエルの反射行動の観察と解剖、血球・筋肉の観察 微化石による古環境解析 	富山いずみ（2年）	39	2	1校 1学級
	特別支援学校	・3DCG（3次元モデル制作）	高岡聴覚総合支援（高等部1、2年）	3	1	1校 2学級
計				185	7	6校 8学級

エ 研修生の受け入れ

研修の種類	研修期間	人数		
		男	女	計
専修コース	1 か 月	0	0	7
	2 か 月	0	3	
	3 か 月	0	4	
定日コース	12 か 月	0	4	4

(3) 普及事業

ア 広報活動

事項 \ 種類	要覧	所報
年発行回数	1回	3回
発行部数	800	① 750 ② 700 ③ 700

イ 科学教育普及活動

内 容	対 象	事 業 量	
		人 数	学 校 等
○サイエンスカー訪問活動 ・しゃぼん玉遊び ・飛行機作り ・空気遊び ・音遊び ・静電気遊び ・葉脈標本作り ・噴水遊び ・鏡遊び ・電気遊び ・熱気球作り ・風船ホバークラフト作り ・ゴムで動かそう ・磁石遊び ・小さな生き物の観察 ・骨と筋肉の働き ・顕微鏡で見る世界 ・光の不思議 ・ローソクの科学 ・バーチャル火山噴火 ・砂の中の宝物探し ・電気の利用 ・簡易モーター作り ・化石模型作り ・月の満ち欠け	小学校	811名	18校
○理科実験・観察訪問研修	小教員	35名	4回
○ 同上 (市町教育センター等との協業)	小教員	280名	16回
○情報教育訪問研修	小・中・高・特	3,793名	30回

ウ 教育相談

(初回受理件数)

主訴 対象	子ども育成相談						特別支援教育相談													
	不登校	学業進路	性格行動	精神身体	その他	計	視覚	聴覚	知覚	肢体	病弱	言語	情緒	学障	広汎性発達障害	AHD	その他	重複	不明	計
就学前	0	2	1	1	0	4	0	0	2	0	0	1	1	0	0	1	3	0	29	37
小1～3	5	2	23	1	15	46	0	0	2	0	0	0	0	1	5	8	2	0	95	113
小4～6	13	5	44	1	21	84	0	0	15	0	0	1	1	1	12	6	2	0	65	103
中学生	11	19	92	3	29	154	0	0	8	1	0	0	0	2	16	7	2	0	25	61
高校生	36	23	41	5	28	133	0	0	3	0	0	0	0	0	9	0	2	0	8	22
その他	1	2	20	0	261	284	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	11
計	66	53	221	11	354	705	0	0	31	1	0	2	2	4	42	22	11	0	232	347

エ 教育資料

教育図書	180 冊	県内外 教育研究紀要	460 冊	教育雑誌	73 種
利用状況 (所員を 含む)	問合せ件数		1130 件 (電話による問合せを含む)		
	来室利用者		4,777 人		
	貸出し件数		686 件		
	貸出し冊数		2,068 冊		

(4) 市町教育センター・教育団体との連携

ア 富山県教育センター協議会 (14 市町教育センターと県総合教育センターで組織) を通して、各センター相互の連携を密にし、次の事業を行った。

◇ 研究事業

研修・調査研究事業運営、生徒指導・相談事業運営に関する主題を設定し研究を進め、10～12 月に発表会を開いた。

< 研修・調査研究事業運営 >

市町教育センターの機能を発揮する研修・調査研究等事業運営の在り方について

< 生徒指導・相談事業運営 >

地域の生徒指導・相談事業を支援する市町教育センターの在り方について

◇ 刊行物

富山県教育センター要覧集、研究要録 (第 53 集)

◇ 教職員研修を協業で実施

理科実験・観察訪問研修、理科教育講座 (自然観察)

イ 各教育センター相互の協業に努めた。

派遣教育専門員 (11 名) 相互の連携を図るとともに、魚津地区や砺波地区では、「地区教育センター協議会」を組織し、組織的且つ協業事業として所員研修や研修事業を行った。また、高岡市・氷見市・射水市では「高岡ブロック協議会」を設け、協業事業を行っている。

ウ 学力向上推進チームと市町教育センターとの連携事業

市町教育センターの要請に応じ、研修会で全国学力・学習状況調査の結果を生かした学校改善や授業改善等について指導助言を行った。